



令和4年度当初予算のポイント

新型コロナ対策を継続しつつ、急速に変化する社会環境に的確に対応する取り組みを実施し
「日本一輝いているまち」を目指します

**「次の100年に向けて」
先人たちの情熱をつなぎ、新たな成長の礎を築く**



大河津分水 通水100周年
The Ohkouzu Diversion Channel 100th Anniversary

新潟県燕市

目 次

1. 予算編成の「基本方針」、予算の「規模」	3
2. 令和4年度「当初予算のポイント」	4
3. 令和4年度当初予算の「重点施策」と「新規・拡充事業」	5
【重点施策①】フェニックス11+の継続による社会経済活動の回復	6
【重点施策②】変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進	7
【重点施策③】未来につながる新たな地方創生で地域活性化	8
【令和4年度特別事業】大河津分水通水100周年事業	9
4. 一般会計「歳入予算」の概要	10
5. 一般会計「歳出予算」の概要	17
6. 一般会計「基金」の状況	20
7. 一般会計「市債」・「債務負担行為」の状況	21
8. 第2次燕市総合計画を基本とした戦略体系に基づく主要事業	22
〔戦略1〕定住人口増戦略	29
〔戦略2〕活動人口増戦略	41
〔戦略3〕交流・応援(燕)人口増戦略	46
〔戦略4〕人口増戦略を支える都市環境の整備	48
〔戦略5〕持続可能な行財政運営の推進	55

【基本方針】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による難局を変革の機会と捉え、第2次燕市総合計画に掲げる「3つの人口増戦略」を柱に、①感染症対策の継続、②地域社会のDX推進、③新たな地方創生の推進を重点に市政運営を進めるとともに、感染症の影響に対し、状況変化に応じ迅速かつ的確に補正予算を編成し、市民生活や地域経済を支える様々な対策を講じてきました。

しかしながら、感染症の第6波の襲来で収束は見通せない状況であり、長引く感染症の影響の下、歳入において自主財源の根幹をなす個人市民税や法人市民税は複数年にわたる大幅な減収が見込まれます。歳出においては、感染症対策の継続経費に加え、デジタル社会、脱炭素社会に向けた取組など新たな行政需要が見込まれています。このほか、公共施設の老朽化対策、社会保障関連経費の増など、従前からの財政負担の増加要因が相まって、本市の財政状況は厳しさを増しています。

令和4年度の当初予算は、こうした厳しい状況下にあっても、感染症の苦難を乗り越え回復を図り、新たな時代にも柔軟に対応し未来を切り拓くことをテーマに、第2次燕市総合計画に掲げる「3つの人口増戦略」を柱として、①「フェニックス11+の継続による社会経済活動の回復」、②「変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進」、③「未来につながる新たな地方創生で地域活性化」の3つの重点施策を積極的に展開します。加えて、通水100周年の節目に「大河津分水通水100周年事業」を実施し、子どもたちが未来への夢やふるさとへの誇りを持てる「日本一輝いているまち・燕市」の実現を目指します。

【予算規模】

令和4年度の一般会計当初予算の総額は、455億4,700万円です。借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は384億8,531万円、国の経済対策による令和3年度補正予算(繰越)事業8億6,076万円を合わせた執行ベースの予算額は393億4,607万円であり、いずれも合併後で最も大きい予算規模となっています。また、特別会計の総額は、173億4,282万円であり、一般会計と特別会計の総額は628億8,982万円、借換債を除く実質的な予算規模は、558億2,813万円となっています。

会 計 名		予 算 額	対前年度増減額	前年度比
一 般 会 計		455億4,700万円 (384億8,531万円)	55億6,800万円 (29億9,006万円)	13.9% (8.4%)
特 別 会 計	国民健康保険	71億6,041万円	1億4,695万円	2.1%
	後期高齢者医療	9億8,021万円	2,850万円	3.0%
	介護保険事業	91億1,528万円	3億7,761万円	4.3%
	土地取得	8,691万円	1,668万円	23.8%
合 計		628億8,982万円 (558億2,813万円)	61億3,775万円 (35億5,980万円)	10.8% (6.8%)

令和3年度補正予算(繰越)事業と合わせた執行ベースの 一般会計予算比較 (対前年度比較 28億8,185万円、7.9%増)			
年度	実質的な予算	R3補正事業	執行ベース
令和4年度	384億8,531万円	8億6,076万円	393億4,607万円
令和3年度	354億9,525万円	9億6,897万円	364億6,422万円
比 較	29億9,006万円 (8.4%)	1億 821万円 (▲11.2%)	28億8,185万円 (7.9%)

※()は借換債を除いた実質的な予算額等です。
※ 端数調整のため合計額と一致しない場合があります(次ページ以降において同じ)。

令和4年度は、依然として感染症の影響が残る中でもアフターコロナを見据え、社会経済活動の回復により最終年度となる第2次燕市総合計画の進捗が図られるよう、これまで実施してきた燕市独自の新型コロナ対策「フェニックス11+」の継続とともに、変化する社会環境への対応や新たな地方創生を重視して予算編成を行いました。

本年は大河津分水が通水してから100年の節目の年です。令和4年度を次の100年のスタートの年と位置づけ、市の最上位計画である第3次燕市総合計画を策定するとともに、新たな成長の礎となるよう**下記の3つのポイント**を柱に施策を展開してまいります。

新型コロナの拡大

多大な影響が続いている

フェニックス11+による景気の下支えを行ってきたが、社会経済活動の冷え込みが続く。

未だコロナ禍前の水準以下

新型コロナがもたらしたデジタル社会の急速な進行。脱炭素社会の推進も重要。

激変する社会環境

新型コロナの拡大により、第2次総合計画の指標にも悪影響が続いている。

特に人流の停滞に影響大

令和4年度の重点施策

【POINT①】
フェニックス11+
の継続による
社会経済活動の回復

【POINT②】
変化する社会環境に対応した
地域社会のDXと
脱炭素社会の推進

【POINT③】
未来につながる
新たな地方創生で
地域活性化

第2次総合計画の目標達成を目指す

「日本一輝いているまち」を目指す戦略

戦略1 定住人口増戦略

住みたい・働きたいと思う人を増やす

戦略2 活動人口増戦略

キラキラ輝く人を増やす

戦略3 交流・応援(燕)人口増戦略

訪れたい・応援したいと思う人を増やす

戦略4 人口増戦略を支える
都市環境の整備

令和4年度の
テーマ

「次の100年に向けて」先人たちの情熱をつなぎ、新たな成長の礎を築く

大河津分水通水100周年を迎える令和4年度は、年間を通じて関連事業を実施します。先人たちの想いと分水路の恵みを未来へとつなげてまいります。

令和4年度当初予算の「重点施策」と「新規・拡充事業」

-5-

これまで累計40事業実施してきた新型コロナ対策「フェニックス11+」に新たに5事業を追加、8事業を拡大して実施します。社会経済活動の回復を図るとともに、変化する時代にも柔軟に対応し、未来を切り拓くことをテーマとした3つの重点施策に加え、令和4年度特別事業として大河津分水通水100周年事業を展開し「**日本一輝いているまち**」の実現を目指します。

1 定住人口増戦略

住みたい・働きたいと思う人を増やす

2 活動人口増戦略

キラキラ輝く人を増やす

3 交流・応援(燕)人口増戦略

訪れたい・応援したいと思う人を増やす

重点施策①

フェニックス11+の継続による社会経済活動の回復

【新規:5、拡充:8、継続2】

重点施策②

変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進

【新規:13、拡充:1、継続3】

重点施策③

未来につながる新たな地方創生で地域活性化

【新規:4、拡充:2、臨時3】

特別事業

大河津分水通水100周年事業

【新規:15、拡充:4、継続15】

(1) 雇用・就労を支える産業の振興

《新》ものづくりみらい100年フォーラム

《拡》小売商業活性化事業

(2) 地域に根ざした教育の推進・子育て支援

《拡》「読解力」育成プロジェクト

《拡》学校介助員の増員

(3) 健やかな暮らしを支える医療福祉の充実

《新》国民健康保険税率の引き下げ

(4) 移住・定住の促進

《拡》つばめ移住・定住促進事業

【新規:16、拡充:20、臨時1】

(1) 市民が主役の健康づくり・生きがいづくり

《新》ゆめみらいスポーツ教室

《新》スポーツランド燕改修事業

(2) 支え合い・助け合い活動の活発化

《新》軽・中等度難聴者補聴器購入費助成金

《拡》子どもの居場所づくり支援事業

(3) 若者・女性の力を活かしたまちづくり

《拡》つばめ若者会議事業

《拡》つばめ子育て応援企業サポート事業

【新規:10、拡充:11、臨時1】

(1) 観光の振興

《新》道の駅国上リニューアル

《新》大河津分水通水100周年記念花火

《新》大河津分水インフラツアー

《継》産業史料館企画展開催事業

(2) 燕市のファンづくり

《拡》ふるさと燕応援事業

《拡》応援(燕)人口拡大創出事業

《拡》シティプロモーション事業

【新規:4、拡充:3】

4 人口増戦略を支える都市環境の整備

(1) 安全・安心機能の向上

《拡》新規バス路線導入事業

(2) 快適な都市機能の向上

《新》まちなか空き家展示相談会事業

【新規:12、
拡充:4、
臨時:4】

5 持続可能な行財政運営の推進

《拡》会計年度任用職員の報酬改定

【新規:3、拡充:2、臨時:1】

《継》建物系公共施設保有量適正化事業

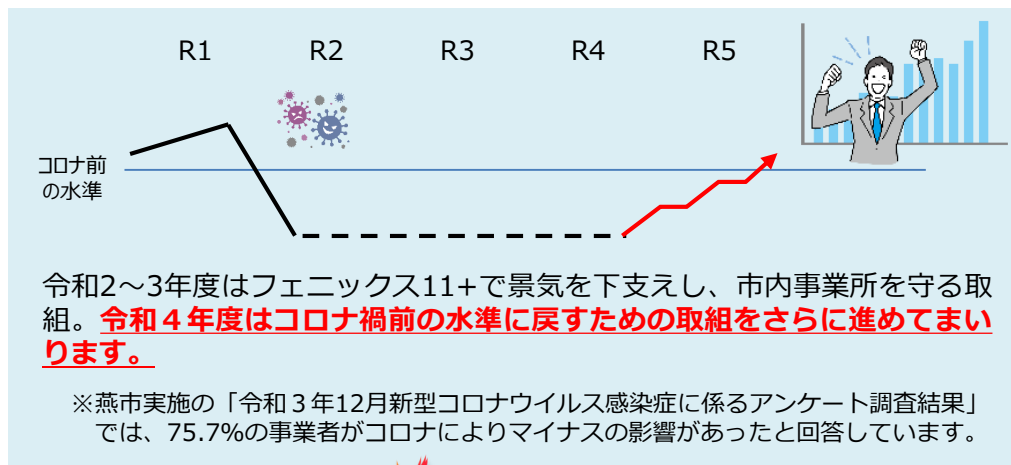
■ 《新》《拡》《臨》《継》の掲載事業は主な事業

■ 《臨》は臨時的事業

■ 【 】の数字は事業数

■ 重点施策の事業数は各戦略の事業数の再計上を含む

第6波の襲来など未だ新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている中、企業活動の活性化を図るとともに、落ち込んでいた消費の回復など社会経済活動と感染症対策を両立させ、コロナ禍前の水準に戻すための取組をさらに進めてまいります。



感染拡大防止策

新型コロナウイルスワクチン接種事業 (P.37)

接種を希望する市民等への3回目のワクチン接種を速やかに実施します。

感染症対策事業（災害対策事業）**新** (P.48)

感染症拡大防止のため、早期に判定できる抗原検査キットを購入します。

市内企業感染症リスク管理支援事業 **拡** (P.29)

介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業 **拡** (P.37)

企業や介護サービス事業所向けに、PCR検査費用に加え、医療用抗原検査キット購入費用も対象に助成します。

- 市民向けPCR検査費用助成事業 **継** (P.37)
- 実習生応援PCR検査費用助成事業 **継** (P.33)

産業支援策

中小企業持続化支援事業 (P.29)

- ・中小企業持続化計画策定支援補助金 **新**
- ・信用保証料補給金 **拡**

経営状況が悪化した事業者が専門家の支援を受けて経営改善計画等を策定する費用を補助します。また、既存の信用保証料補給金に新たなメニューを加えます。

イノベーション拠点整備支援事業 **拡** (P.31)

ビジネススタイルの変化に対応し、首都圏等の事業者の誘致と市内の創業環境の向上を図るとともに、市内事業者とのビジネスマッチングを促進します。

- DX生産性向上促進補助金 **新** (P.30) ※重点施策② 再掲
- 海外見本市出展サポート事業 **拡** (P.29)
- チャレンジ・ファーマー支援事業 **拡** (P.32)

消費喚起策

燕応援フェニックスクーポン発行事業 **新** (P.29)

第4弾となるクーポン券を発行し、市内の飲食・小売・サービス関連等の消費を喚起します。一世帯あたり6,000円分。

つばめ食べて応援キャンペーン **拡** (P.32)

市内農産物の消費活性化と販路拡大を図るキャンペーンを規模を拡大して実施します。

- 小売商業活性化事業 **拡** (P.31) ※大河津分水通水100周年事業再掲
- 産業・農業まつり **新** (P.32) ※大河津分水通水100周年事業再掲



【重点施策②】 変化する社会環境に対応した地域社会のDXと脱炭素社会の推進 -7-

感染症を契機に急速にデジタル化が進展している中、市民サービス、企業・農業者、市役所など地域社会のDXを推進します。また、脱炭素社会推進に向けての施策を実施するなど、SDGsの理念に基づいた持続可能な社会の実現を目指します。

地域社会のDX推進

市民サービスのデジタル化

コンビニ交付サービスの開始 **新** (P.55)



8月1日から
サービスを開始します。

軽自動車税納税証明書の電子化 **新** (P.55)



車検時に紙の納税証明書が
不要となります。

市民のデジタル格差
解消事業 **新** (P.38・P.43)



高齢者向けの
スマホ教室を開催します。

企業・農業者のDX推進支援

燕版共用受発注システム
導入促進補助金 **継** (P.30)



燕市IoT推進ラボ独自の
共用クラウド導入を支援します。

DX生産性向上
促進補助金 **新** (P.30)



市内企業のDX推進を支援し
競争力強化を図ります。

ECサイト販路開拓
応援補助金 **継** (P.32)



市内農業者のECサイトへの
出店費用等を補助します。

デジタル市役所の推進

情報統計室の新設と
専門の外部人材採用 **新** (P.55)



新体制で全庁的にDXを推進します。

燕市公式LINEの
機能強化 **拡** (P.55)



新たな拡張機能を追加します。

脱炭素社会の推進



SDGs (カーボンニュートラル等)
促進事業 **新** (P.30)

カーボンニュートラルの推進をはじめ、SDGsに取り組む市内企業
への助成制度を創設します。

次世代エネルギー技術等
活用可能性調査事業 **新** (P.50)

脱炭素社会に向け、市内での風力等次世代エネルギーの活用可能性
を調査します。

住宅エコリフォーム支援事業 **新** (P.50)

省エネ基準を満たす住宅を増加させ、地域全体でエネルギー消費量
削減を推進します。

公園等スマートライティング設備整備事業 **新** (P.50)

遠隔により調光操作ができるLED照明灯を92基設置し、エネ
ルギー消費量の削減を図ります。

指定ごみ袋のレジ袋化事業 **新** (P.50)

市内協力店舗において、買い物時のレジ袋の代わりに指定ごみ袋を
1枚からでも購入できるようにし、レジ袋の削減に取り組みます。

吉田南小学校照明器具等改修事業 **新** (P.34)
小学校屋内運動場照明器具改修事業 **継** (P.34)
スポーツランド燕改修事業 **新** (P.42)
学校開放施設ナイター設備改修事業 **新** (P.42)

【重点施策③】 未来につながる新たな地方創生で地域活性化

-8-

市の最上位計画である第3次燕市総合計画を策定します。また、道の駅国上リニューアルやスケートボード場の新設など、人の流れを活性化することで、新型コロナの影響により落ち込んだ「活動人口」「交流・応援(燕)人口」を回復させます。

「ツバメ」の未来をつくる計画策定



人口減少、DX、脱炭素、分散型社会、ダイバーシティ、災害の激甚化など日々変化する社会状況を的確にとらえるとともに、SDGsの理念に基づいた持続可能なまちづくりを推進するための礎となる各種計画を策定します。

第3次燕市総合計画の策定 **臨** (P.54) まちづくりマスタープランの策定 **臨** (P.54) 第2次燕市行政改革推進プランの策定 **臨** (P.55)

計画期間：2023～2030年度

計画期間：2023～2042年度

計画期間：2023年～2030年度

新たに人の流れを生み出す施設整備

全天候型子ども遊戯施設整備事業 **新** (P.35)

令和6年度中のオープンを目指し、令和4年度は用地取得や基本設計・実施設計等を行います。
(建設予定地：大曲地内)



スケートボード場整備事業 **新** (P.42)

スケートボードの人気の高まりを受け、愛好者が安全に楽しめるようスケートボード場を整備します。
(整備予定地：スポーツランド燕内)



道の駅国上リニューアル **新** (P.46)

新たな指定管理者のもと、キャンプ場やフードコンテナ等の整備など、新たな客層を呼び込む魅力ある施設に改修します。



新たな燕ファンの獲得

大河津分水インフラツアー **新** (P.46)

※大河津分水通水100周年事業再掲

大河津分水にまつわる観光ポイントを巡るツアーを行う旅行事業者等に対し経費を補助します。



応援(燕)人口拡大創出事業 **拡** (P.47)

新たな体験・交流プログラムを提供し、市外県外の燕市の応援(燕)人口拡大を図ります。



まちあそび学会(仮称)の開催 **拡** (P.45)

市内外の高校生や学生、教職員を対象にイベントを開催し、燕市の若者が楽しみながらまちづくりに携わる手法をブランド化して発信します。

大河津分水通水100周年事業

「先人から学ぶ」「分水路の恵み」「これからへつなぐ」をテーマに各種事業を実施します。

※事業一覧は、P.9をご覧ください。

100
1922 - 2022

度重なる水害に悩まされていたこのまちは、100年前の通水を機に安定した農業と世界的な産業、安心して安全な暮らしのできるまちへ発展を遂げました。節目の年を迎え、分水路の恵みへ感謝の気持ちを込め、30の事業を企画しました。事業を通じて、新たに作成する楽曲や漫画といったツールを活用し、通水を果たした先人を輩出した私塾長善館の教えとともに、恵みである産業・観光・農業を広く発信するシティプロモーションに取り組むことで、発展し続ける燕市をこれからの未来へ引き継いでいきます。

先人から学ぶ (CHOZENプロジェクト)

①声優朗読劇 新

「大河津分水にたずさわった先人たちの物語」

②人気長寿テレビ番組公開収録 新

(①・②文化会館自主事業)

【予算額】685万円 (P.43)

③成人講座 燕大学「大河津分水」

④長善館学習塾

⑤大河津分水企画展の開催
(分水良寛史料館・長善館史料館)

⑥筑波大学による記念講演会

⑦郷土史燕～大河津分水特集号～

⑧先人の歴史実地学習促進事業
(モデル校市内3校)

⑨大河津分水関連史跡・文化財説明板整備 新

分水路の恵み

⑩ものづくりみらい100年フォーラム 新

(ものづくり基盤強化事業)

【予算額】207万円 (P.30)

大河津分水通水100周年記念田んぼアート

⑪田植えイベント ⑫稲刈りイベント 新

【予算額】300万円 (P.32)

⑬プレミアムキッチン 新

～大河津分水の恵みを味わう～ (観光推進費)

【予算額】200万円 (P.46)

⑭産業・農業まつり 新

(農産物販路拡大推進事業)

【予算額】400万円 (P.32)

⑮100周年記念企画展 (産業史料館)

⑯信濃川大河津資料館見学事業 新

⑰記念川下り体験 拡

⑱小売商業みらい100年事業 新

⑳記念楽曲の活用 新

【予算額】 ㉑事業費の内数

市のPR大使やハンドパン奏者が作成する、通水100周年を記念した楽曲を活用して各事業を盛り上げます。

【総事業費】 6,618万円



これからへつなぐ

⑲偉人漫画制作事業 新

【予算額】550万円 (P.43)

⑳大河津分水通水100周年記念花火 新

(観光推進費)

【予算額】1,250万円 (P.46)

㉑大河津分水インフラツアー 新

(燕・弥彦広域観光連携事業)

【予算額】200万円 (P.46)

㉒桜並木復活プロジェクト 新

【予算額】45万円

㉓桜まつり100周年特別演出 拡

㉔オリジナルショップバッグ制作 新
(燕ジョイ活動部)

㉕Twitter川柳コンテスト#100年 拡

㉖大学生連携 川の魅力発信

㉗記念給食メニューの作成

㉘分水マンホールカードの作成

関連事業・イベント

- ・燕さくらマラソン大会
- ・酒吞童子行列
- ・図書館特設コーナー
- ・資料映像の公開
- ・100周年記念開発商品の活用

㉙シティプロモーション 拡

(シティプロモーション事業)

【予算額】900万円 (P.47)

通水100周年事業全体を通じて、記念楽曲や各種メディア、SNSを活用し、効果的に燕市を発信します。

【概要】

令和4年度歳入総額は、455億4,700万円です。借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は、384億8,531万円であり、令和3年度と比較して8.4%（29億9,006万円）の増となっています。

令和2年度以降、感染症の影響により減少となった市税は、給与所得の増加や企業業績の回復も見られることから、コロナ禍前の水準を下回るものの、令和3年度に比べ増加する見込みです。また、国の令和4年度地方財政計画の見通しを踏まえて、地方消費税交付金等の各種交付金の増を見込むとともに、ワクチン接種など感染症対策等の財源となる国庫支出金の増や、3つの重点施策等を展開するために充当するふるさと燕応援基金等からの繰入金の増などにより、歳入総額は大きく増加することとなりました。

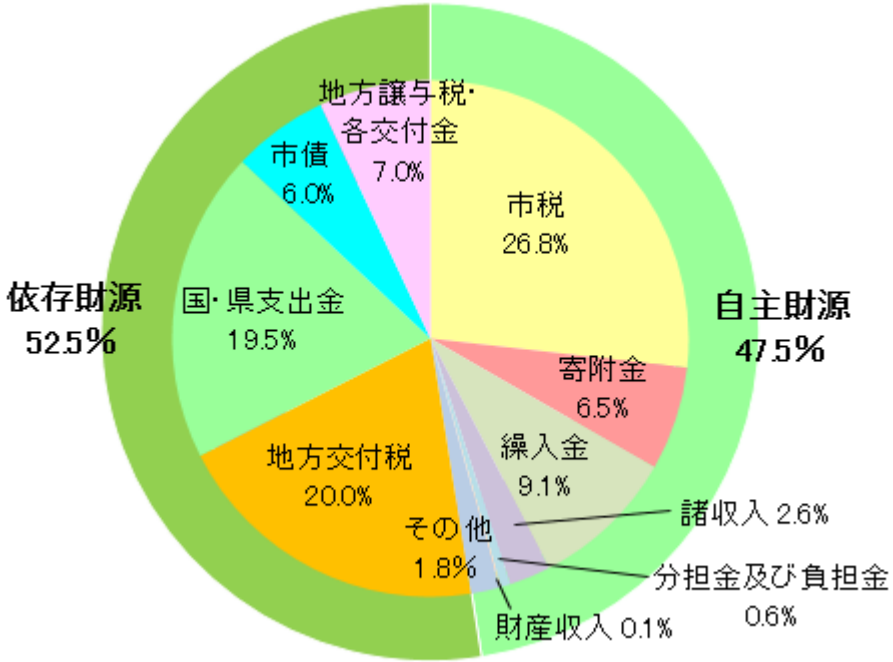
主な増減内容は、次ページ以降のとおりです。

令和4年度 歳入の内訳

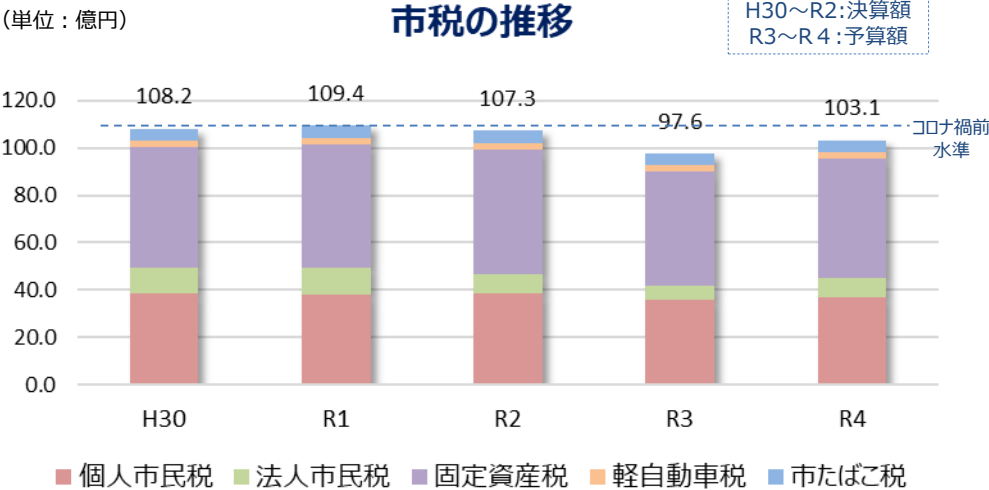
区 分		予 算 額	対前年度増減額	前年度比
自主財源	市 税	103億 645万円	5億5,068万円	5.6%
	寄 附 金	25億 1万円	▲2億円	▲7.4%
	繰 入 金	35億1,472万円	12億8,780万円	57.8%
	諸 収 入	10億1,258万円	2,995万円	3.0%
	分担金及び負担金	2億3,413万円	269万円	1.2%
	使用料及び手数料	1億9,523万円	3万円	0.0%
依存財源	そ の 他	5億3,444万円	▲1億5,896万円	▲22.9%
	市 債	93億6,249万円 (23億 80万円)	18億2,764万円 (▲7億5,030万円)	24.3% (▲24.6%)
	地方交付税	77億円	5億円	6.9%
	国・県支出金	74億9,968万円	15億8,352万円	26.8%
	そ の 他	26億8,727万円	1億4,465万円	5.7%
合 計		455億4,700万円 (384億8,531万円)	55億6,800万円 (29億9,006万円)	13.9% (8.4%)

※()は借換債を除いた実質的な予算額等

「実質的な予算額」の財源割合



市税 103億645万円 前年度比5億5,068万円（5.6%）増

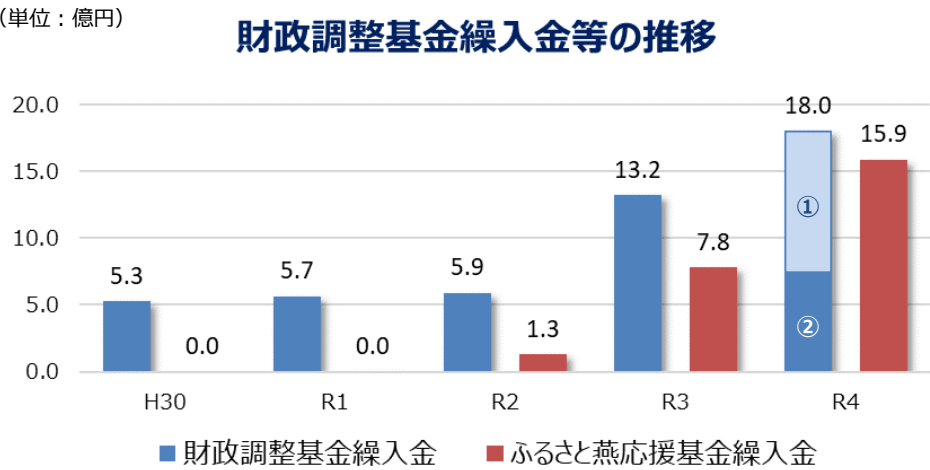


【主な増減理由】

- ・個人市民税⇒感染症の影響が残るものの給与所得増加により増
- ・法人市民税⇒業績は業種により両極化するも回復基調により増
- ・固定資産税⇒国の感染症緊急経済対策による軽減措置の終了により増

区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
市民税	45億3,121万円	3億6,689万円	8.8%
個人市民税	36億9,895万円	9,407万円	2.6%
法人市民税	8億3,226万円	2億7,282万円	48.8%
固定資産税	50億1,741万円	1億7,000万円	3.5%
軽自動車税	2億6,749万円	1,427万円	5.6%
市たばこ税	4億9,035万円	▲47万円	▲0.1%
合 計	103億 645万円	5億5,068万円	5.6%

繰入金 35億1,472万円 前年度比12億8,780万円（57.8%）増



【主な増減理由】

- ・財政調整基金繰入金⇒積み立てた令和3年度ふるさと燕応援寄附金を新規・拡充事業等へ充当することに伴い増
- ・ふるさと燕応援基金繰入金⇒スポーツ施設の改修や全天候型子ども遊戯施設整備事業への充当増

区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
財政調整基金繰入金	18億 463万円	4億8,519万円	36.8%
ふるさと燕応援基金繰入金	15億8,773万円	8億 916万円	103.9%
社会福祉事業基金繰入金	20万円	20万円	皆増
環境整備基金繰入金	20万円	▲41万円	▲67.8%
森林環境保全基金繰入金	237万円	▲324万円	▲57.7%
仲治奨学基金繰入金	7,146万円	▲156万円	▲2.1%
子ども夢基金繰入金	4,613万円	▲154万円	▲3.2%
入学準備金貸付基金繰入金	200万円	—	0.0%
合 計	35億1,472万円	12億8,780万円	57.8%

■ ふるさと納税の活用方針

(1) 寄附金（ふるさと納税）

使い途を設定した2つの区分により寄附金（ふるさと納税）を募り、寄附金から返礼品等の経費（事業費）を除いた差額分を重点事業等の財源として有効に活用します。

※（ ）は令和3年度予算額等

区 分	R4寄附金の使い途	R4寄附見込額	R4歳入予算寄附金	R4歳出予算		積立先基金
				事業費（経費）	積立金	
① ふるさと燕応援寄附金 ※	産業、教育、福祉、環境、魅力発信、市長におまかせ	20億円 (15億円)	10億円 (7億円)	10億円 (7億円)	0円 ※当初予算時 (0円)	財政調整基金 ※補正予算で積立
② 自治体クラウドファンディング型 ふるさと燕応援寄附金	全天候型子ども遊戯施設整備をはじめとした子育て支援	15億円 (20億円)	15億円 (20億円)	6億7,500万円 (9億円)	8億2,500万円 (11億円)	ふるさと燕応援基金
合 計		35億円 (35億円)	25億円 (27億円)	16億7,500万円 (16億円)	8億2,500万円 (11億円)	

※ ①ふるさと燕応援寄附金について、寄附金の歳入予算は、本来、寄附見込額20億円と同額を計上すべきところですが、ふるさと納税を財源の前提としない予算編成とするため、寄附見込額20億円のうち経費10億円を超える額10億円は、あらかじめ当初予算の歳入に計上せず、経費10億円と同額の10億円を当初予算の歳入に計上します。当初予算計上10億円を超える寄附額は、実績に基づき補正予算に計上し、財政調整基金に積み立てた後、令和5年度以降の新規・重点事業等の財源として繰入れ活用します。

自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金

令和元年8月から「スポーツ施設の改修等」を使い途に設定し目標額50億円の寄附を募っており、令和4年3月末までに概ね目標を達成する見込みです。令和4年4月から次の使い途を「全天候型子ども遊戯施設整備をはじめとした子育て支援」に設定し、全天候型子ども遊戯施設整備の事業費が賄える35億円を目標額とします。

年 度	R4	R5	R6	R7
事業スケジュール	用地取得	土地造成工事・設計	建築工事	供用開始（事業費約15億円）
積立金（寄附金）	8.25億円 (15億円)	8.25億円 (15億円)	2.75億円 (5億円)	計19.25億円 (計 35億円)



(2) 財政調整基金（①ふるさと燕応援寄附金の積立分）の充当事業

令和3年度の①ふるさと燕応援寄附金から経費を除いた差額分は、令和3年12月末時点の寄附実績額に基づき令和3年度補正予算（第13号）に計上し、財政調整基金に積み立てました。この積立分は、令和4年度の新規・重点事業等の財源として財政調整基金から繰入れ充当（一般財源）します。

【令和4年度充当事業】

寄附の使い途	R4主な充当事業 ※		R4充当額
① 産業の振興に関すること	<ul style="list-style-type: none">・ 地場産業販路開拓事業・ チャレンジ・ファーマー支援事業・ 観光推進費	<ul style="list-style-type: none">・ 燕ブランド推進事業・ 園芸作物産地化推進事業・ 燕・弥彦広域観光連携事業 など	1億5,855万円
② 教育の振興に関すること	<ul style="list-style-type: none">・ Jack&Bettyプロジェクト・ ゆめみらいスポーツ教室・ 学校図書館充実事業	<ul style="list-style-type: none">・ 情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト・ ICT教育推進事業・ 学校介助員の増員（学校管理費）など	1億9,845万円
③ 福祉に関すること	<ul style="list-style-type: none">・ 子ども医療費助成事業・ 病児・病後児保育事業・ 地域生活支援事業	<ul style="list-style-type: none">・ 妊産婦医療費助成事業・ 母子健康診査事業・ 健康づくりマイストーリー運動 など	6,510万円
④ 環境の保護に関すること	<ul style="list-style-type: none">・ 公園等スマートライティング設備整備事業・ 環境負荷低減対策支援事業・ スポーツランド燕改修事業（照明LED化）	<ul style="list-style-type: none">・ 住宅エコリフォーム支援事業（建築総務費）・ 指定ごみ袋のレジ袋化（環境政策推進事業費）・ 小学校屋内運動場照明器具改修事業 など	8,400万円
⑤ 燕市の魅力発信に関すること	<ul style="list-style-type: none">・ シティプロモーション事業・ つばめ移住・定住促進事業・ つばめ若者会議事業	<ul style="list-style-type: none">・ 応援（燕）人口拡大創出事業・ 東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業・ ふるさと燕若者応援事業 など	2,205万円
⑥ 市長におまかせ	<ul style="list-style-type: none">・ 大河津分水通水100周年事業・ つばめ若者会議事業・ 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業	<ul style="list-style-type: none">・ 移住・定住家族支援事業・ つばめ子育て応援カード事業・ 空き家等対策推進事業 など	5億2,185万円

※ 充当事業の詳細は、別冊「令和4年度当初予算概要」に掲載しています。

充当額 合計 10億5,000万円

(3) ふるさと燕応援基金の充当事業

②自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金から経費を除いた差額分は、ふるさと燕応援基金に積み立てた後、寄附使途事業の実施財源として基金から繰り入れ充当します。

【令和4年度充当事業】 (百万円単位に丸めて表示)

積立年度	寄附の使い途	R4主な充当事業	R4充当額
H30 R元	① 小学校等のエアコン整備事業償還費	■ 令和元年度小学校、幼稚園及び保育園のエアコン整備事業に係る市債の償還金	3,600万円
R元 ～ R3	② スポーツ施設の改修等	■ スポーツ施設の改修工事等に係る費用の一般財源分（市債の後年度償還金を含む） ・ 吉田トレーニングセンター（ビジョンよしだ）大規模改修事業 ・ スケートボード場整備事業 ・ 分水多目的屋内運動場改修事業 など	7億2,100万円
R2	③ 新型コロナウイルス感染症対策	■ 新型コロナウイルス感染症対策事業の一般財源分（市債の後年度償還金を含む） ・ 中小企業持続化支援事業 ・ 燕応援フェニックスクーポン発行事業 ・ 農産物販路拡大推進事業 など	2億5,800万円
R4	④ 全天候型子ども遊戯施設整備事業をはじめとした子育て支援	■ 全天候型子ども遊戯施設整備事業をはじめとした子育て支援事業の一般財源分 ・ 全天候型子ども遊戯施設整備事業	5億7,300万円

充当額 合計 15億8,800万円

【ふるさと燕応援基金の積立総額・充当額等】

充当事業	基金積立総額 ※ ①	R3までの充当額 ※ ②	R4充当額 ③	R5以降充当見込額 ④	活用可能残額 ①－②－③－④
① 小学校等のエアコン整備事業償還費	2億7,200万円	7,400万円	3,600万円	1億6,200万円	0円
② スポーツ施設の改修等	27億9,800万円	7億3,100万円	7億2,100万円	8億5,300万円	4億9,300万円
③ 新型コロナウイルス感染症対策	13億5,900万円	8億3,100万円	2億5,800万円	1億8,800万円	8,200万円
④ 全天候型子ども遊戯施設整備事業	-	-	5億7,300万円	9億2,000万円	-
合 計	44億2,900万円	16億3,600万円	15億8,800万円	21億2,300万円	5億7,500万円

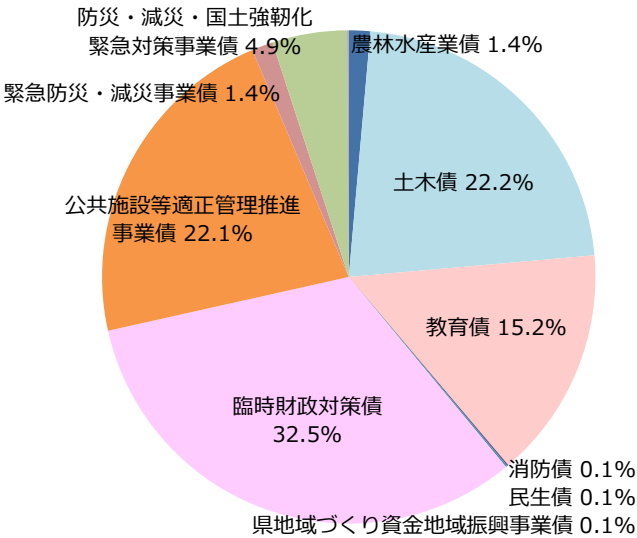
※令和3年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和3年度中の補正予算や事業費の確定等により変動することがあります。

市債 93億6,249万円 前年度比18億2,764万円（24.3%）増

【主な増減理由】

- ・借換債 25億7,794万円の増
- ・教育債（スポーツランド燕改修事業） 1億7,030万円の増
- ・緊急防災・減災事業債 3億700万円の減

実質的な市債の構成比



区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
農林水産業債	3,210万円	▲1,820万円	▲36.2%
土木債	5億 990万円	9,990万円	24.4%
教育債	3億4,910万円	3億 270万円	652.4%
消防債	330万円	—	0.0%
民生債	330万円	330万円	皆増
臨時財政対策債	7億5,000万円	▲10億5,000万円	▲58.3%
公共施設等適正管理推進事業債	5億 750万円	1億 500万円	26.1%
緊急防災・減災事業債	3,160万円	▲3億 700万円	▲90.7%
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	1億1,330万円	1億1,330万円	皆増
県地域づくり資金地域振興事業債	70万円	70万円	皆増
借換債	70億6,169万円	25億7,794万円	57.5%
合 計	93億6,249万円 (23億 80万円)	18億2,764万円 (▲7億5,030万円)	24.3% (▲24.6%)

※()は借換債を除いた実質的な市債です。

地方交付税 77億円 前年度比5億円（6.9%）増

【主な増減理由】

- ・普通交付税は、国の令和4年度地方財政計画の見通しや基準財政需要額の算入額の見込等から、臨時財政対策債と合わせて実質的に5.5億円の減
- ・特別交付税は、コンビニ交付サービス導入に対し約1,300万円の増が見込まれるものの、その他増減要因を考慮し前年同額

区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
実質的な普通交付税	74.5億円	▲5.5億円	▲6.9%
普通交付税	67.0億円	5.0億円	8.1%
臨時財政対策債	7.5億円	▲10.5億円	▲58.3%
特別交付税	10.0億円	—	0.0%
合 計	84.5億円	▲5.5億円	▲6.1%

国庫支出金 51億6,026万円 前年度比15億1,878万円（41.7%）増

【主な増減理由】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 5億5,640万円の増
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 3億3,766万円の皆増
- ・遺跡発掘調査費負担金 3億4,935万円の増（石港遺跡発掘調査〔渡部地区〕等）

県支出金 23億3,942万円 前年度比6,474万円（2.8%）増

【主な増減理由】

- ・障がい者自立支援給付費等負担金 4,230万円の増
- ・放課後児童健全育成事業費等補助金 3,539万円の増
- ・農地集積・集約化促進事業補助金 2,691万円の減
- ・子ども・子育て支援整備交付金 1,942万円の減

区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
国庫支出金	51億6,026万円	15億1,878万円	41.7%
国庫負担金	32億4,942万円	2億7,758万円	9.3%
国庫補助金	18億9,275万円	12億4,093万円	190.4%
委託金	1,809万円	27万円	1.5%
県支出金	23億3,942万円	6,474万円	2.8%
県負担金	12億3,200万円	5,217万円	4.4%
県補助金	8億6,720万円	▲3,578万円	▲4.0%
委託金	2億3,022万円	4,836万円	26.6%
県貸付金	1,000万円	—	0.0%

地方譲与税、各種交付金 26億8,727万円

前年度比1億4,465万円（5.7%）増

【主な増減理由】

地方財政計画の見通しを踏まえた増減

- ・地方譲与税のうち自動車重量譲与税 2,000万円の増
- ・株式等譲渡所得割交付金 2,800万円の増
- ・法人事業税交付金 1億1,000万円の増
- ・地方消費税交付金 2億円の増
- ・地方特例交付金のうち、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金 1億9,740万円の皆減（※）

（※国が新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施した固定資産税の軽減措置終了に伴う減額）

区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
地方譲与税	3億5,405万円	3,006万円	9.3%
利子割交付金	700万円	200万円	40.0%
配当割交付金	3,900万円	800万円	25.8%
株式等譲渡所得割交付金	4,200万円	2,800万円	200.0%
法人事業税交付金	1億6,100万円	1億1,000万円	215.7%
地方消費税交付金	20億円	2億円	11.1%
環境性能割交付金	2,300万円	900万円	64.3%
地方特例交付金	5,000万円	▲2億4,240万円	▲82.9%
交通安全対策特別交付金	1,122万円	0万円	▲0.1%
合 計	26億8,727万円	1億4,465万円	5.7%

【概要】

令和4年度歳出総額は455億4,700万円です。借入額と返済額を同額で計上している借換債を除く実質的な予算額は384億8,531万円であり、令和3年度と比較して8.4%(29億9,006万円)の増となっています。

歳出全体では、国費を活用したワクチン接種など感染症対策に加え、スポーツ施設の大規模改修及び子育て支援施設の整備事業費が実質的な予算総額を押し上げる要因となっています。

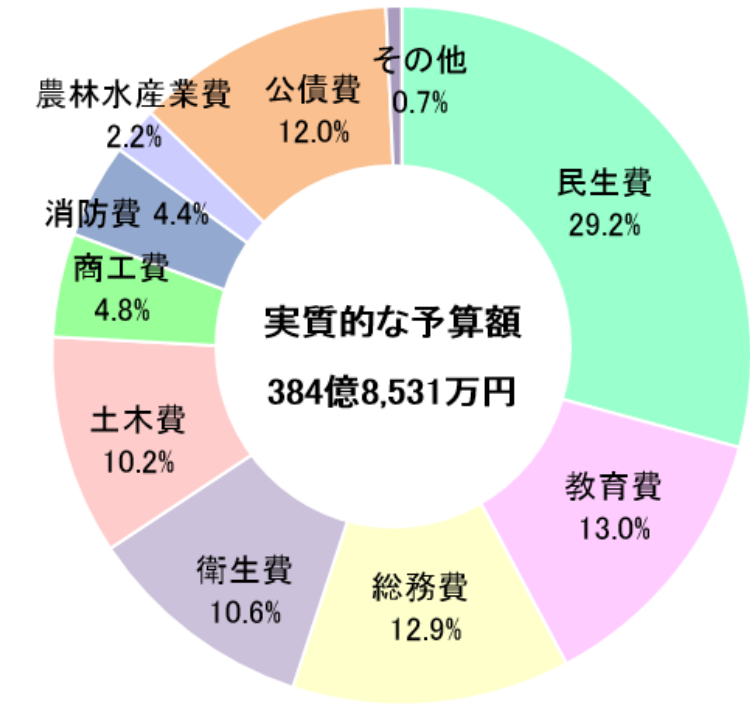
目的別では、令和3年度から継続して実施する吉田トレーニングセンター(ビジョンよしだ)の大規模改修事業等により教育費が増、全天候型子ども遊戯施設整備事業等により民生費が増、国による新型コロナウイルスワクチン接種事業の継続等により衛生費が増、公園等スマートライティング設備整備事業等の実施により土木費が増となりました。

令和4年度 歳出(支出)の目的別内訳

区 分	予 算 額	対前年度増減額	前年度比
民 生 費	112億5,385万円	8億6,478万円	8.3%
教 育 費	49億8,956万円	11億7,429万円	30.8%
総 務 費	49億4,362万円	7,008万円	1.4%
衛 生 費	40億9,241万円	4億 436万円	11.0%
土 木 費	39億1,279万円	3億2,512万円	9.1%
商 工 費	18億4,654万円	6,226万円	3.5%
消 防 費	16億8,821万円	▲2,197万円	▲1.3%
農林水産業費	8億4,710万円	▲2,890万円	▲3.3%
公 債 費	116億9,175万円 (46億 3,006万円)	26億9,930万円 (1億2,136万円)	30.0% (2.7%)
そ の 他	2億8,118万円	1,868万円	7.1%
合 計	455億4,700万円 (384億8,531万円)	55億6,800万円 (29億9,006万円)	13.9% (8.4%)

※()は借換債を除いた実質的な予算額等

「実質的な予算額」の目的別割合



一般会計「歳出予算」(目的別)の主な増減理由

-18-

民生費 112億5,385万円 前年度比8億6,478万円(8.3%) 増

【主な増減理由】

- ・全天候型子ども遊戯施設整備事業 5億7,154万円の増
- ・サービス利用量増及び報酬改定による障がい者介護給付費支給事業 1億6,850万円の増
- ・東児童センター改修事業 8,333万円の皆減

教育費 49億8,956万円 前年度比11億7,429万円(30.8%) 増

【主な増減理由】

- ・吉田トレーニングセンター大規模改修事業 10億920万円の皆増
 - ・渡部地区発掘調査に伴う埋蔵文化財事業 3億3,748万円の増
 - ・分水総合体育館改修事業 6億3,587万円の皆減
- ※上記のほか、令和3年度の国補正予算を活用した繰越事業として、小中学校の施設改修事業等をあわせて実施します。

総務費 49億4,362万円 前年度比7,008万円(1.4%) 増

【主な増減理由】

- ・寄附見込額の増に伴うふるさと燕応援事業 3億円の増
- ・燕市議会議員選挙費 6,166万円の皆増
- ・寄附見込額(クラウドファンディング分)の減に伴うふるさと燕応援基金積立金 2億7,500万円の減

衛生費 40億9,241万円 前年度比4億436万円(11.0%) 増

【主な増減理由】

- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 3億6,296万円の増
- ・HPVワクチン接種勧奨等に伴う感染症予防事業 3,128万円の増
- ・次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業 1,643万円の皆増

土木費 39億1,279万円 前年度比3億2,512万円(9.1%) 増

【主な増減理由】

- ・公園等スマートライティング設備整備事業 1億2,700万円の皆増
 - ・長寿命化改修等に伴う市営住宅等管理費 9,620万円の増
- ※上記のほか、令和3年度の国補正予算を活用した繰越事業として、社会資本整備総合交付金事業をあわせて実施します。

商工費 18億4,654万円 前年度比6,226万円(3.4%) 増

【主な増減理由】

- ・燕応援フェニックスクーポン発行事業 1億6,780万円の皆増
- ・通水100周年を記念した取組に伴う観光推進費 2,917万円の増
- ・産業用地造成事業完了に伴う企業立地活性化事業 1億750万円の減

農林水産業費 8億4,710万円 前年度比2,890万円(3.3%) 減

【主な増減理由】

- ・設備更新に伴う国上農村環境改善センター維持管理事業 3,037万円の皆増
- ・農地集積・集約化促進事業 2,691万円の減

※上記のほか、令和3年度の国補正予算を活用した繰越事業として、経営基盤強化促進対策事業等をあわせて実施します。

公債費 116億9,175万円 前年度比26億9,930万円(30.0%) 増

【主な増減理由】

- ・事業債償還元金 26億9,649万円の増
(借換債 25億7,794万円の増)
(借換債を除く事業債償還元金 1億1,855万円の増)
- ・事業債償還利子 281万円の増

【概要】

性質別のうち、義務的経費では、報酬単価の見直しに伴う会計年度任用職員報酬の増等により人件費が増、障がい者介護給付費の増や保育士等の処遇改善臨時特例事業等により扶助費が増となっています。

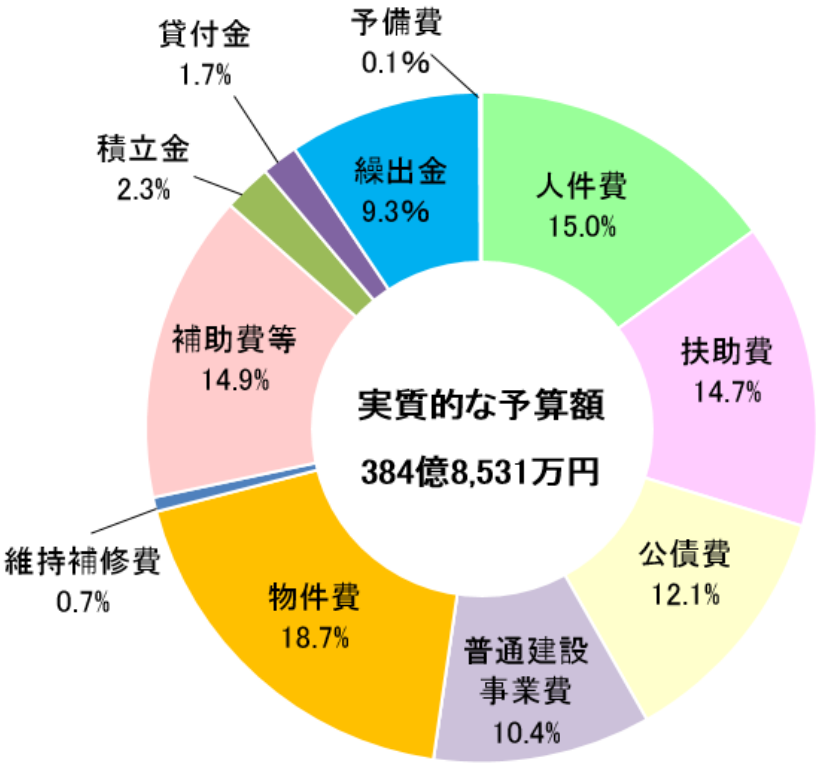
投資的経費では、スポーツ施設及び子育て支援施設整備のほか、吉田公民館改修事業や公園等スマートライティング設備整備事業などにより普通建設事業費が増となっています。

その他の経費では、自治体クラウドファンディング型ふるさと燕応援寄附金の減に伴う基金積立金の減や、社会教育施設の設備修繕の年度計画に伴い維持補修費が減となっている一方、新型コロナウイルスワクチンの追加接種や渡部地区発掘調査に伴う埋蔵文化財事業の増等による物件費の増、燕応援フェニックスクーポン発行事業などにより補助費が増となっています。

令和4年度 歳出(支出)の性質別内訳

区 分	予算額	対前年度増減額	前年度比
義務的経費	231億4,540万円 (160億8,341万円)	30億2,452万円 (4億4,658万円)	15.0% (2.9%)
人件費	57億8,454万円	9,163万円	1.6%
扶助費	56億5,910万円	2億3,359万円	4.3%
公債費	117億 175万円 (46億4,006万円)	26億9,930万円 (1億2,136万円)	30.0% (2.7%)
投資的経費	40億3,789万円	14億5,948万円	56.6%
普通建設事業費	40億3,789万円	14億5,948万円	56.6%
災害復旧費	0万円	—	0.0%
その他経費	183億6,371万円	10億8,401万円	6.3%
物件費	71億9,224万円	10億1,844万円	16.5%
維持補修費	2億6,491万円	▲1,539万円	▲5.5%
補助費等	57億2,512万円	2億9,657万円	5.5%
積立金	8億9,135万円	▲2億6,850万円	▲23.1%
貸付金	6億7,606万円	804万円	1.2%
繰出金	35億8,404万円	4,485万円	1.3%
予備費	3,000万円	—	0.0%
合 計	455億4,700万円 (384億8,531万円)	55億6,800万円 (29億9,006万円)	13.9% (8.4%)

「実質的な予算額」の性質別割合



※()は借換債を除いた実質的な予算額等

【概要】

財政調整基金残高は、令和3年度末で24億8,409万円、令和4年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、6億7,947万円となっています。なお、財政調整基金、減債基金、ふるさと燕応援基金を合わせた財源対策的基金残高は、令和3年度末で60億9,792万円、令和4年度当初予算に計上した繰入金と積立金を反映した基金残高は、35億3,061万円となっています。

■基金残高

区 分		令和3年度 末残高見込	令和4年度当初予算額		令和4年度 当初予算時残高	市民1人あたり(円)	
			繰入金	積立金		R3末	R4当初
財 源 対 策 的 基 金	財政調整基金	24億8,409万円	18億 463万円	1万円	6億7,947万円	3万1,809円	8,701円
	減債基金	8億1,461万円	—	1万円	8億1,462万円	1万 431円	1万 431円
	ふるさと燕応援基金	27億9,922万円	15億8,773万円	8億2,504万円	20億3,653万円	3万5,844円	2万6,078円
	小 計	60億9,792万円	33億9,237万円	8億2,505万円	35億3,061万円	7万8,084円	4万5,210円
そ の 他 基 金	ガス事業譲渡清算金 活用基金	2億1,622万円	—	0万円	2億1,622万円	2,769円	2,769円
	社会福祉事業基金	1,778万円	20万円	—	1,758万円	228円	225円
	環境整備基金	22万円	20万円	0万円	3万円	3円	0円
	森林環境保全基金	821万円	237万円	906万円	1,489万円	105円	191円
	産業振興事業基金	913万円	—	0万円	913万円	117円	117円
	仲治奨学基金	1億2,964万円	7,146万円	5,531万円	1億1,349万円	1,660円	1,453円
	義務教育施設整備基金	162万円	—	0万円	162万円	21円	21円
	子ども夢基金	1億 622万円	4,613万円	0万円	6,009万円	1,360円	769円
	入学準備金貸付基金	618万円	200万円	192万円	610万円	79円	78円
	美術品取得準備基金	1,078万円	—	0万円	1,078万円	138円	138円
	小 計	5億 599万円	1億2,236万円	6,629万円	4億4,993万円	6,480円	5,761円
	合 計	66億 391万円	35億1,472万円	8億9,135万円	39億8,054万円	8万4,564円	5万 971円

※令和3年度末残高見込及び令和4年度当初予算時残高の数値は、令和3年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和3年度中の補正予算や事業費の確定等により変動することがあります。

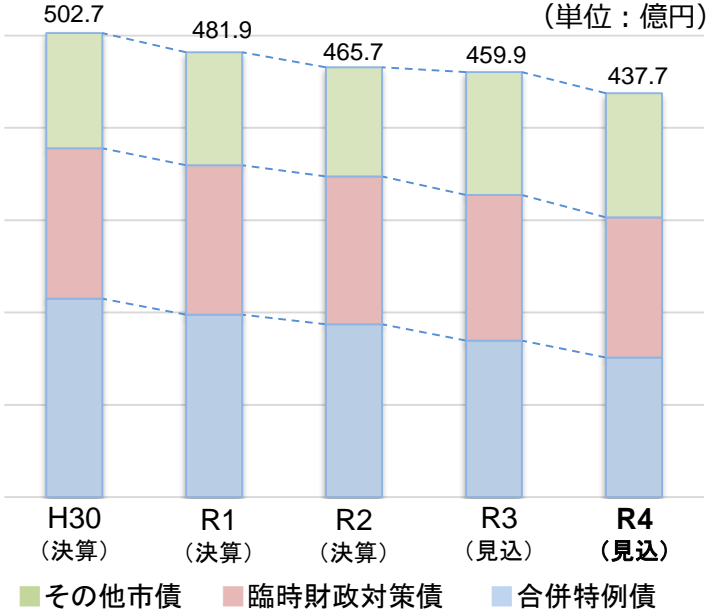
※市民1人あたりの残高は、令和3年12月末人口(住基台帳人口)に基づき算出

【市債】

合併以降、合併特例債等の市債を財源として、道路や小中学校の整備など、新しいまちづくりのための公共投資を集中的に行ってきた結果、市債残高は平成30年度末で502億6,502万円となっていました。

その後は、公共投資の減少に加え、市債を借り入れるにあたり、交付税措置のある有利な市債を積極的に活用するほか、ふるさと燕応援寄附金（クラウドファンディング）で財源を確保するなど新規発行の抑制に努めています。令和4年度においては、令和3年度に比べ借入額全体で7億5,030万円減少することに加え、償還元金が増加することにより、令和4年度末残高は前年度末から22億2,767万円減少し、437億6,638万円となる見込みです。

市債残高の推移



市債残高

区 分	令和3年度末 残高見込	令和4年度当初予算額		令和4年度 増減額	令和4年度末 残高見込	構成 割合	市民1人あたり(円)	
		借入額	償還額				R3末	R4末
その他市債	132億7,349万円	15億5,080万円	13億6,400万円	1億8,680万円	134億6,029万円	30.7%	16万9,968円	17万2,361円
臨時財政対策債	157億8,074万円	7億5,000万円	13億5,192万円	△6億 192万円	151億7,882万円	34.7%	20万2,074円	19万4,366円
合併特例債	169億3,982万円	—	18億1,255万円	△18億1,255万円	151億2,727万円	34.6%	21万6,916円	19万3,706円
合 計	459億9,405万円	23億 80万円	45億2,847万円	△22億2,767万円	437億6,638万円	100.0%	58万8,958円	56万 433円

※令和3年度及び令和4年度末残高見込の数値は、令和3年度3月補正予算までの数値を反映させたものであり、今後、令和3年度中の予算補正や事業費の確定等により変動することがあります。
※市民1人あたりの残高は、令和3年12月末人口(住基台帳人口)に基づき算出

【債務負担行為】

債務負担行為の残高は、令和3年度末で18億7,783万円となっていますが、当初予算において燕市企業立地促進補助金交付規程に基づく補助金（1億5,190万円）等を新たに追加したことにより、令和4年度当初予算時点で22億3,532万円となりました。

第2次燕市総合計画を基本とした 戦略体系に基づく主要事業

次ページ以降の体系図には、それぞれの施策の推進を図ることで目標に貢献できるSDGs (※)のアイコンを表示しています。
※2015年（平成27年）の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で記載された国際目標

【SDGsの17の目標のアイコン】



新 = 新規事業 拡 = 拡充事業
臨 = 臨時的事業

【基本方針】

(1)雇用・就労を支える産業の振興

【施策】

①ものづくり産業の活性化



新 中小企業持続化支援事業
新 燕応援フェニックスクーポン発行事業
臨 海外見本市出展サポート事業（地場産業販路開拓事業）
臨 市内企業感染症リスク管理支援事業

29

新 SDGs（カーボンニュートラル等）促進事業
臨 中小企業DX推進支援事業
新 ものづくりみらい100年フォーラム（ものづくり基盤強化事業）
臨 燕ブランド推進事業

30

②新たな産業育成・創業の支援



臨 イノベーション拠点整備支援事業
臨 小売商業活性化事業
臨 つばめ創業支援事業

31

③変化に対応する農業の振興



臨 農産物販路拡大推進事業
新 大河津分水通水100周年田んぼアート（農業振興事業）
臨 園芸作物産地化推進事業
新 燕市農業振興協議会（農業総務費）
臨 水田経営力強化推進事業
臨 チャレンジ・ファーマー支援事業
新 経営継承・発展等支援事業

32

(2)地域に根ざした教育の推進・子育て支援

①知・徳・体を育てる教育の推進



臨 情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト
臨 ICT教育推進事業
臨 学校介助員の増員（学校管理費）
臨 実習生応援PCR検査費用助成事業

33

臨 つばめ長善プロジェクト
 ├─ 臨 長善館学習塾事業
 ├─ 臨 Jack & Betty プロジェクト
 ├─ 臨 つばくろロボキッズ教室（燕ロボット・プログラミング教室事業）
 └─ 臨 広報つばめ「子ども記者」（広報広聴費）
臨 つばくろいきいきスポーツクラブ事業
新 部活動の在り方検討事業
新 吉田南小学校照明器具等改修事業
臨 小学校屋内運動場照明器具改修事業

34

②安心して産み育てられる子育て支援



- 新 全天候型子ども遊戯施設整備事業
- 協 発達支援コーディネーター育成事業（療育支援事業）
- 協 子育てコンシェルジュ育成事業（子どもの居場所運営事業）
- 病児・病後児保育事業

35

- 新 西燕児童館改修事業
- 新 西小児童クラブ改修事業
- 協 なかまの会の児童クラブ化推進事業
- 子育てアプリ事業
- つばめ子育て応援カード事業
- 不妊治療助成事業
- 妊産婦医療費助成事業
- 育児教室・育児相談会（母子保健衛生事業）

36

(3)健やかな暮らしを支える医療福祉の充実

①医療サービスの機能強化



- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
- 協 介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業
- 市民向けPCR検査費用助成事業
- 看護職員修学資金貸付事業

37

- 新 国民健康保険税率の引き下げ（国民健康保険税）
- 不妊治療助成事業 [再掲36ページ参照]
- 妊産婦医療費助成事業 [再掲36ページ参照]
- 子ども医療費助成事業

38

②地域で支える高齢者福祉



- 新 絆ノートの作成・配布（在宅医療・介護連携推進事業費）
- 協 人生100年時代の健康サポート事業
- 新 骨折・骨粗しょう症重症化予防事業（保健事業費）

38

③障がいのある人への切れ目のない支援



- 新 つばめバリアフリーフェスティバル（地域生活支援事業）
- 協 障がい者社会福祉施設整備事業費補助金（地域生活支援事業）
- 就労継続支援A型・B型事業（障がい者介護給付費支給事業）
- 障がい者基幹相談支援センター運営事業（地域生活支援事業）
- 障がい児通所支援費支給事業
- 協 発達支援コーディネーター育成事業（療育支援事業） [再掲35ページ参照]

39

(4)移住・定住の促進

①移住・定住希望者へのサポート強化



- ④ つばめ移住・定住促進事業
 - 移住相談
 - ツバメビト移住ツアー
 - おためし地域おこし協力隊
 - ④ 移住・就業等支援事業補助金
 - 移住者住宅支援事業補助金
 - テレワーカー交通費補助金
 - 定住相談
 - ④ 定住希望者向け市内ツアー
 - ④ 講習会・交流会開催
- ④ ふるさと燕若者応援事業
 - 移住家族支援事業
 - 定住家族支援事業

40

2 活動人口増戦略

【基本方針】

(1)市民が主役の健康
づくり・生きがい
づくり

【施策】

①元気を磨く健康づくり



- ④ HPVワクチン接種事業（感染症予防事業）
- ④ 肝炎ウイルス検診（健（検）診事業）
- 健康診査等のオンライン予約（健（検）診事業）
- ④ 生活習慣病等予防事業（保健事業費）
- ④ つばめ元気かがやきポイント事業（健康づくりマイストーリー運動、介護予防把握事業費、介護予防普及啓発事業費）
- 生活習慣病改善指導事業

41

②健全な心と体を支えるスポーツの推進



- ④ スケートボード場整備事業
- ④ スポーツランド燕改修事業
- ④ 学校開放施設ナイター設備改修事業
- ④ 分水多目的屋内運動場改修事業
- 燕さくらマラソン大会（生涯スポーツ振興費）
- ④ ゆめみらいスポーツ教室
- つばめ野球クリニック・トークショー（応援（燕）人口拡大創出事業）

42

(2) 支え合い・助け合い 活動の活発化	③ 心豊かな生涯学習・ 文化活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 新 偉人漫画制作事業（文化振興事業） 新 長善館史料館活性化事業（長善館史料館管理運営費） ○ 成人講座「燕大学」（中央公民館事業） ○ つばめっ子かるた大会（文化振興事業） 新 「不安」を「安心」に かんたんスマホ教室 新 文化会館自主事業 新 吉田公民館改修事業 	43
	① 支え合いの地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> 新 軽・中等度難聴者補聴器購入費助成金（介護予防・生活支援事業） 新 第4次燕市地域福祉計画策定事業（地域福祉推進事業） 新 生理用品無償配布事業（子どもの居場所づくり支援事業、学校衛生管理費） 新 子どもの居場所づくり支援事業助成金（子どもの居場所づくり支援事業） 	44
(3) 若者・女性の力を 活かしたまちづくり	② 市民協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちづくり協議会支援事業 ○ 協働のまちづくり推進事業 ○ 外国人交流会の開催（地域振興一般経費） 	44
	① 若者の活動の活発化	<ul style="list-style-type: none"> 新 つばめ若者会議事業 ○ 羽ばたけつばくろ応援事業 	45
	② 女性が活躍しやすい 環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 新 つばめ子育て応援企業サポート事業 <ul style="list-style-type: none"> ○ つばめ子育て応援企業認定 新 男性の育児休業取得促進奨励金 新 訪問型男性育休啓発事業 ○ 男性従業員の育休5日取得を推進 新 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業 新 勤労者福祉事業 	45

3 交流・応援（燕）人口増戦略

【基本方針】	【施策】	【主要事業】	【ページ】
(1) 観光の振興	① 着地型観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 新 道の駅国上リニューアル（道の駅「国上」運営事業） ○ 産業史料館企画展開催事業（産業史料館運営業務委託事業） 新 大河津分水通水100周年記念花火（観光推進費） 新 プレミアムキッチン～大河津分水の恵みを味わう～（観光推進費） 新 大河津分水インフラツアー（燕・弥彦広域観光連携事業） 	46
(2) 都市間交流の推進	① 都市交流・ 広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 燕・弥彦地域定住自立圏推進事業 	47

(3) 燕市のファンづくり

① イメージアップ・
ふるさと応援

- ⑧ ふるさと燕応援事業
- 自治体クラウドファンディング事業（自治体クラウドファンディング事業、基金積立金）
- ⑧ 応援(燕)人口拡大創出事業
- ⑧ シティプロモーション事業

47

4 人口増戦略を支える都市環境の整備

【基本方針】

【施策】

【主要事業】

【ページ】

(1) 安全・安心機能の向上

① 災害に強いまちづくり



- ⑧ 感染症対策事業（災害対策事業）
- ⑧ 防災備蓄整備事業（災害対策事業）
- 固定電話への防災情報配信事業（災害対策事業）
- ⑧ 立地適正化計画防災指針検討事業
- 総合防災訓練事業
- ⑧ 信濃川・魚野川総合水防演習

48

② 防犯・消費者保護
対策の推進

- ⑧ 犯罪被害者等支援事業
- 防犯カメラ設置補助事業（防犯事業費）
- 消費生活相談窓口事業（戸籍住民基本台帳費）

48

③ 交通安全の推進



- ⑧ 広域8号線交差点改良事業
- ⑧ 吉田東通り自歩道整備事業
- 園児通行ルート安全対策事業
- 高齢者運転免許自主返納支援事業（交通安全推進事業）
- 交通安全指導強化事業（交通安全推進事業）

49

④ 公共交通の整備



- ⑧ 新規バス路線導入事業（公共交通運行事業）
- 予約制乗合ワゴン車運行事業（公共交通運行事業、公共交通会議）

49

⑤ 快適な環境の確保



- ⑧ 次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業
- ⑧ 住宅エコリフォーム支援事業（建築総務費）
- ⑧ 公園等スマートライティング設備整備事業
- ⑧ 吉田南小学校照明器具等改修事業 [再掲34ページ参照]
- 小学校屋内運動場照明器具改修事業 [再掲34ページ参照]
- ⑧ SDGs（カーボンニュートラル等）促進事業 [再掲30ページ参照]
- ⑧ 指定ごみ袋のレジ袋化事業（環境政策推進事業費）
- カンカンBOOK事業（塵芥処理費、保育園運営費）

50

(2)快適な都市機能の向上

①まちなか居住と 空き家等対策の推進



- ④ 空き家跡地活用促進補助事業（空き家等対策推進事業）
- ④ ④ まちなか空き家展示相談会事業（空き家等対策連絡協議会事業）
- ④ ④ 中心市街地再生モデル事業
- ④ ④ まちなかにぎわい創出支援事業 [再掲31ページ参照]
- 都市公園・児童遊園遊具整備事業（都市公園管理費、児童遊園管理費）

51

②親しみのある公園 づくり



- ④ 小高長所線道路改良事業
- 中央通小高線道路改良事業
- ④ 藤見線道路改良事業
- 修繕料（道路維持費）等

52

③人にやさしい道路 環境の整備



- 浄水場施設再構築事業
- 老朽管路更新事業

53

④安全・安心・おいし い水道水の供給



- ④ 下水道ストックマネジメント計画の策定
- 本町排水区(合流)管路施設改築更新事業
- 公共下水道の整備（未普及対策）事業
- 合併処理浄化槽転換促進事業（環境衛生費）

53

⑤適正な汚水処理の 推進



- ④ 第3次燕市総合計画策定事業（政策調査研究費）
- ④ まちづくりマスタープラン策定事業
- ④ 次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業 [再掲50ページ参照]
- ④ SDGs（カーボンニュートラル等）促進事業 [再掲30ページ参照]

54

⑥新たなまちづくりに 向けた取組



5 持続可能な行財政運営の推進

行政改革の推進



開かれた行財政運営



【主要事業】

【ページ】

- ④ 第2次燕市行政改革推進プラン策定事業（行政改革推進費）
- ④ 会計年度任用職員の報酬改定
- ④ 情報統計室の新設
- ④ コンビニ交付サービスの開始（情報システム管理費、戸籍住民基本台帳費）
- ④ 軽自動車税納税証明書の電子化（情報システム管理費、賦課経費）
- ④ 燕市公式LINEの機能強化（広報広聴費）
- 建物系公共施設保有量適正化事業
- 原材料費高騰等への対応

55

- ① コロナ禍の影響を受けた企業の経営の立て直しを支援します。
- ② 市内の消費喚起のため燕応援フェニックスクーポンの第4弾を発行します。
- ③ コロナ禍における企業の販路開拓や感染症のリスク管理を支援します。

コロナ禍からの回復を目指す経営支援

中小企業持続化支援事業 **新** 【予算額】 7,501万円 (予算書P.147)

★中小企業持続化計画策定支援補助金

コロナ禍の長期化により経営状況が悪化した事業者が専門家の支援を受けて経営改善計画等を策定する費用を補助し、経営の立て直しやレジリエンス強化を支援します。

◆対象経費

- ① 早期経営改善計画の策定
(資金繰り管理、経営課題の把握)
- ② 経営改善計画の策定
(返済条件の変更等、①より改善を要する場合)
- ③ 事業承継計画の策定
- ④ 事業継続力強化計画の策定

◆補助率：1/2

◆上限額：10万円

【担当課】商工振興課



★信用保証料補給金

コロナ禍の影響による売上減少やゼロゼロ融資をはじめとした借入金の返済等の課題を抱えている中小企業を支援するため、既存の信用保証料補給金に新潟県制度融資の以下のメニューを加えます。

- ① フロンティア企業支援資金 (脱炭素枠)
- ② 事業再生資金
- ③ 経営力強化資金
- ④ 経営改善サポート資金

【担当課】商工振興課

消費需要喚起

燕応援フェニックスクーポン発行事業 **新** 【予算額】 1億6,781万円 (予算書P.149)

燕応援フェニックスクーポンの第4弾を発行し、市内の飲食・小売・サービス関連等における消費を喚起します。

- ◆一世帯あたり：6千円分
(第3弾は4千円分)

【担当課】商工振興課



コロナ禍の販路開拓支援

海外見本市出展サポート事業 **拡** (地場産業販路開拓事業) 【予算額】 300万円 (予算書P.147)

補助金の対象経費に、現地スタッフ委託料や、出入国時陰性証明取得費用、自主隔離となった場合の宿泊費用を新たに加えます。

【担当課】商工振興課

感染症のリスク管理支援

市内企業感染症リスク管理支援事業 **拡** 【予算額】 2,004万円 (予算書P.149)

企業が対面による営業活動等を行う際の感染症リスク管理支援として、従業員等へのPCR検査費用に加え医療用抗原検査キットの購入費用も対象とし、その一部を補助します。

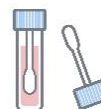
- ◆補助率：3/4 (PCR:1万円/1検体、医療用抗原検査:2千円/1キットを上限)

- ◆申請枠 (従業員数に応じた上限)：

20人以下：30万円

21～99人：50万円

100人以上：100万円【担当課】商工振興課



- ④企業のSDGs（カーボンニュートラル等）の取組を支援し、取引先の維持拡大・地場産業のイメージアップを図ります。
- ⑤企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を支援し、労働生産性の向上を図ります。
- ⑥持続可能な企業経営風土を醸成するほか、燕ブランドの高付加価値化を図ります。

企業のSDGsの推進

SDGs（カーボンニュートラル等）

促進事業 新

【予算額】514万円（予算書P.149）

市内企業のカーボンニュートラルをはじめとするSDGsへの取組を支援し、サプライチェーンの維持拡大と、地場産業のイメージアップを図ります。

★SDGs（カーボンニュートラル等）促進補助金

カーボンニュートラルをはじめとするSDGsへの取組を促進するため、専門家を活用した計画策定や研修等の経費を補助します。

◆補助率：1/2

◆上限額：10万円

★SDGs（カーボンニュートラル等）

宣言事業者の発信

設備投資による事業の省エネ化をはじめ、日々の事業活動上で発生する資源の再利用、エネルギー使用の効率化等に取り組む事業者を募り、市・事業者のホームページで紹介します。

【担当】商工振興課



DXの推進

中小企業DX推進支援事業 拡

【予算額】2,574万円（予算書P.149）

令和4年度から本格稼働する燕版共用受発注システムの導入をはじめとした市内企業のDXを支援し、競争力強化を図ります。

★燕版共用受発注システム導入促進補助金

◆対象経費：

受発注や製造進捗、納期情報を複数の企業がクラウド上で共有する受発注システム（燕市IoT推進ラボ独自開発）の導入経費

◆補助率：1/2以内

◆上限額：100万円

★DX生産性向上促進補助金 新

◆対象経費：システム導入費、コンサル費、DX人材育成・教育費等

◆補助率：1/2以内

◆上限額：100万円

★DX販路拡大支援補助金

ホームページの作成又は機能強化費等の補助

◆補助率：1/2～1/3 ◆上限額：50～30万円

オンライン見本市への出展費用の補助

◆補助率：1/2 ◆上限額：15万円

【担当】商工振興課



未来へつなぐ経営支援

ものづくりみらい100年フォーラム

（ものづくり基盤強化事業） 新 100

【予算額】207万円（予算書P.157）

通水100周年を契機として、次の100年を見据えた未来志向型の経営を行うにあたりSDGs等の企業が取り組むべき課題やその対策について講演します。【担当課】商工振興課

燕ブランドの高付加価値化

燕ブランド推進事業 拡

【予算額】416万円（予算書P.149）

市内企業が生み出す製品や若手デザイナーによるデザインを専門的視点で評価・発信するコンクール等の受賞賞金を拡充することで出品意欲を高め、市内企業の企画力・デザイン力の充実を図ります。

★ジャパン・ツバメ・インダストリアル

デザインコンクール

◆グランプリ（1点）：20万円 ⇒ 50万円

◆準グランプリ（2点）：12万円 ⇒ 30万円

◆優秀賞（3点）：10万円 ⇒ 20万円

★若monoデザインコンペティション燕

◆大賞（3点）：10万円 ⇒ 30万円

【担当課】商工振興課

- ①首都圏等からの地方への進出企業を誘致し、新たな産業と人の流れを創出します。
- ②地域の若者や商工団体などと連携し、商店・商店街の魅力向上とまちなかの活性化を図ります。
- ③新規創業に対する支援を行い、企業の成長をサポートします。

産業イノベーションの創出

イノベーション拠点整備支援事業 【予算額】1億1,768万円 (予算書P.149) (拡)

★シェアオフィス等開設・運営費補助 (イノベーション拠点施設開設支援補助金)

企業誘致の推進及び創業環境の向上を図ることを目的に、市内でシェアオフィス等の施設を整備する経費のほか、今後シェアオフィス等の施設を市内に定着させるための管理運営費等への支援を行い、新たな産業と人の流れを創出します。

◆補助率：4/5以内

◆上限額：

(収容20人未満施設) 3,000万円

(収容20人以上施設) 4,500万円

◆採択数：3施設

★シェアオフィスへの進出企業支援

イノベーション拠点整備支援事業を活用した施設に入居する市外企業に対して、進出支援金として最大100万円を交付します。

★首都圏等における誘致プロモーション活動

進出検討企業の燕市への視察やマッチングイベントを企画・実施するほか、企業誘致関連情報を効果的に発信し、地元企業と進出企業の連携強化につなげていきます。

【担当課】商工振興課



市内にシェアオフィスを整備



首都圏等の事業者、創業者など

商業の活性化

小売商業活性化事業 (拡)

【予算額】1,469万円 (予算書P.149)

小売商店等と連携したイベント実施などにより、商業の活性化を図ります。

★小売商業みらい100年事業 (新) 100

商工団体による大河津分水通水100周年を契機とした消費喚起イベントの開催を支援します。

★まちなかにぎわい創出事業

若手店主等による商店街活性化に向けたイベントを実施します。

★未利用店舗改装資金助成

未利用店舗の利活用促進のため店舗改装資金を助成します。

◆補助率：1/2以内

◆上限額：150万円 【担当課】商工振興課



創業の支援

つばめ創業支援事業

【予算額】690万円 (予算書P.149)

市内での創業を支援するため、空き家等を活用する創業者の家賃補助のほか、創業資金の融資に係る利子補給を実施します。【担当課】商工振興課

- ①付加価値の高い農産物の生産と販路開拓を支援し、農業所得の向上を図ります。
- ②水稻と園芸作物による複合営農を支援するとともに、消費者の視点に立った魅力的な農業を振興します。
- ③意欲ある農業経営者を支援するとともに、若い人材の経営参画を促進し、農業の持続的発展を図ります。

魅力ある農産物の生産・消費拡大

農産物販路拡大推進事業 **拡**

【予算額】 1,203万円 (予算書P.139)

★産業・農業まつり **新** **100**

大河津分水通水100周年を記念し、通水により発展してきた地域の農産物や工業製品の販売・PRイベントを行います。

★つばめ食べて応援キャンペーン **拡**

市内農産物の消費活性化と販路拡大のため規模を拡大してキャンペーンを実施します。



★ECサイト販路開拓応援補助金

市内農業者のECサイト出店費用等を補助します。
◆補助率：1/2～1/3 ◆上限額：50～20万円
【担当課】農政課

大河津分水通水100周年田んぼアート (農業振興事業) **新** **100**

【予算額】 300万円 (予算書P.139)

例年の吉田ふれあい広場脇での田んぼアートに加え、分水さくら公園脇で通水100周年をテーマにした田んぼアートを実施します。

【担当課】農政課

園芸作物産地化推進事業 **拡**

【予算額】 567万円 (予算書P.141)

園芸作物の作付面積に応じた助成等や視察研修等を行い、園芸作物の産地化を推進します。

★園芸作物産地化推進補助金

◆えだまめ、たまねぎ：3万円/10a

★水田収益力強化ビジョン推進作物補助金

◆きゅうり、トマト、ナス など：1.5万円/10a

★栽培技術向上支援 **新**

先進的な農業法人の視察研修や園芸作物の栽培指導会を実施します。【担当課】農政課

燕市農業振興協議会 (農業総務費) **新**

【予算額】 21万円 (予算書P.137)

市内農産物の生産・販売・消費に関する戦略的、効果的な施策を実現するため、現状把握や課題整理、打開策の検討を行います。【担当課】農政課

水田経営力強化推進事業

【予算額】 5,413万円 (予算書P.143)

水田を活用した収益性の高い販売用作物の作付面積等に応じて助成を行います。

◆輸出用米：1万円/10a など 【担当課】農政課

チャレンジ・ファーマー支援事業 **拡**

【予算額】 1,550万円 (予算書P.139)

収益性の高い園芸作物の作付け拡大による農業者の所得向上を図るため、複合営農支援枠の補助率を拡充します。

<複合営農支援枠>

◆補助率 1/4 ⇒ 1/3 (若手枠は1/2)

【担当課】農政課

担い手の確保

経営継承・発展等支援事業 **新**

【予算額】 200万円 (予算書P.141)

将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保するため、経営発展計画に基づく経営の継承、事業の拡大・効率化などの取組を支援します。

◆対象経費：研修費、旅費、機械装置等整備費、広報費、開発・取得費等

◆上限額：100万円

【担当課】農政課



- ①読み解く力の向上により、子どもたちの確かな学力の定着と、生きる力を育成します。
- ② ICTを活用し、「子どもたちに個別最適化された学び」と「社会とつながる協働的・探求的な学び」を推進します。
- ③すべての児童・生徒が安心して学習活動ができるよう、きめ細かな指導を行う体制を整備します。

学力向上の推進

情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト (拡) 【予算額】 664万円 (予算書P.185)

AIが進化する社会において、自律して生きていくための力を養う「読解力」育成プロジェクトが2年目を迎えます。令和4年度も引き続き、児童・生徒の読解力を分析するとともに、一般社団法人 教育のための科学研究所 所長の新井紀子氏の指導をいただきながら、読解力の育成を意識した授業を実践し、児童・生徒の学力向上を図ります。

◆リーディングスキルテストの実施 (小学6年生、中学1・2・3年生)

◆リーディングスキルテストの調査結果分析

◆教員向け研修会 ◆「つばめ読解力育成プラン」の作成

◆研究会の開催 ◆教員等による先進自治体視察 等

【担当課】学校教育課



学ぶ意欲を高める教育の推進

ICT教育推進事業 (拡) 【予算額】 7,921万円 (予算書P.179)

これまでの教育実践や読解力の育成を意識した授業づくりに、ICT機器を掛け合わせることににより、「子どもたちに個別最適化された学び」と、「社会とつながる協働的・探求的な学び」を推進します。また、GIGAスクール運営支援センターの開設などを行い、より手厚く、安定的な支援体制を整備し、ICT機器の活用促進に取り組めます。

◆GIGAスクール運営支援センターの開設

◆ICT支援員の増員 (2人 ⇒ 4人)

◆ICT機器を活用した授業

◆オンライン学習環境の提供

【担当課】学校教育課



特別支援教育の充実

学校介助員の増員 (学校管理費) (拡) 【予算額】 1億4,282万円 (予算書P.189(小学校費)、P.193(中学校費))

障がいのある、または特別な支援を要する子どもたちに対し、これまで以上にきめ細かな指導を行うため、学校での活動や学習を支援する「学校介助員」を増員配置します。

◆令和3年度:57人 ⇒ 令和4年度:66人

【担当課】学校教育課

燕市出身等の学生応援

実習生応援PCR検査費用助成事業 【予算額】 84万円 (予算書P.183)

燕市出身または燕市在住で、市内及び近郊での教育実習等を行う学生を対象に、民間検査機関が実施するPCR検査の費用を助成します。

◆上限額15,000円
(1人1回限り)

【担当課】学校教育課



- ④燕らしい特色ある教育により、郷土を愛する心を培うとともに、自分らしい生き方を実現していく力を育みます。
- ⑤充実した部活動環境を構築し、体力や技術の向上を目指す生徒を応援します。

個性を伸ばす教育の推進

つばめ長善プロジェクト

燕市独自の教育プログラムを開催し、子どもたちが自分の良さを伸ばしたり、新たな可能性を広げたりすることを応援します。

★長善館学習塾事業

【予算額】76万円(予算書P.181)

様々な体験や人との関わりを通じて、自立心や助け合う心、問題解決能力を育みます。



◆内容：南魚沼キャンプ体験、大河津分水PR動画制作、会社訪問 等

【担当課】学校教育課

★Jack&Bettyプロジェクト

【予算額】3,828万円(予算書P.177)

英語でのコミュニケーション活動やプロジェクト活動を通じて、世界で活躍するために必要な英語力や協調性を育みます。 【担当課】学校教育課



★つばくろロボキッズ教室

(燕ロボット・プログラミング教室事業)

【予算額】75万円(予算書P.183)

プログラミング的思考を働かせながら、自律動作型ロボットを操作する活動を通じて、プログラミングに対する興味関心や学び続ける意欲を育みます。

【担当課】学校教育課

★広報つばめ「子ども記者」(広報広聴費)

【予算額】136万円(予算書P.63)

子どもたちが自ら記事の企画、取材、編集を行い「広報つばめ子ども版」を制作することを通じて、燕市への愛着心や自主性・協調性を育みます。 【担当課】広報秘書課

課外活動の充実

つばくろいきいきスポーツクラブ事業

【予算額】252万円(予算書P.183)

部活動以外の休日等にも体力や技術の向上を目指したい生徒や、部活動以外のスポーツにも挑戦したいといった希望に応えられるよう、二一ズ調査を行った上で、クラブ数を拡充して実施します。

◆設置予定クラブ：陸上、バレーボール、バスケットボール、野球、水泳、他

【担当課】学校教育課

部活動の在り方検討事業

【予算額】24万円(予算書P.195)

文部科学省が示した、休日の部活動の段階的な地域移行の方針を踏まえ、休日の部活動の在り方についての検討委員会を開催します。

【担当課】学校教育課

脱炭素社会に向けた照明LED化

吉田南小学校照明器具等改修事業

【予算額】2億2,660万円(予算書P.193)

国の令和3年度補正予算を活用し、教室や体育館などの照明のLED化と太陽光発電パネル・蓄電池シ



テムの設置を行います。設置に向けては、令和3年度中にプロポーザルを実施し、国の補助金の採択を目指します。

【担当課】学校教育課

小学校屋内運動場照明器具改修事業

【予算額】4,430万円(予算書P.191)

【事業期間】令和3～5年度

◆令和4年度改修対象校：燕東小学校、燕南小学校、大関小学校、分水小学校

【担当課】学校教育課

- ①子どもたちが季節や天候に関わらず、思いっきり遊ぶことのできる施設を整備します。
- ②多様なニーズに対応した、きめ細かな子育て支援サービスを提供します。

子育て支援サービスの充実

全天候型子ども遊戯施設整備事業 新

【予算額】 5億7,254万円 (予算書P.111) 【事業期間】 令和3～6年度



建設予定地 (大曲地内)

季節や天候に関わらず、子どもたちが体を使って思いっきり遊ぶことができる全天候型の屋内遊戯施設整備を望む市民の皆さんの声を受け、令和3年度に基本構想を作成しました。令和4年度は用地取得や設計等を行い、令和6年度中のオープンを目指します。

- ◆用地取得、基本設計・実施設計、土地造成工事・調整池設置工事 等
- 【担当課】 子育て支援課



他施設の例 (イメージ図・わくわくヒルズ(阿賀野市)のフロアマップより)

【設置予定の遊具】

大型トランポリン、アスレチック遊具 等

【遊具の配置】

年齢ごとにゾーニングし安全を確保、障がいのある子もいない子も共に遊べる工夫 等

【付帯予定の機能】

休憩スペース、見守りスペース、おむつ替えスペース、授乳室、等

(全天候型子ども遊戯施設整備基本構想より)

きめ細かな子育て支援

発達支援コーディネーター育成事業 拡 (療育支援事業)

【予算額】 7万円 (予算書P.111)

特別な配慮を要する子どもとその保護者への支援および関係機関との調整機能の強化を図るため、各園の保育士を「発達支援コーディネーター」として育成します。令和4年度より、私立園を含めた取り組みを開始します。

◆配置園…令和3年度:モデル園2園 ⇒ 令和4年度:公立の全17園 【担当課】 子育て支援課

子育てコンシェルジュ育成事業 拡 (子どもの居場所運営事業)

【予算額】 165万円 (予算書P.107)

公立子育て支援施設の職員を「子育てコンシェルジュ」として育成し、相談体制の充実を図ります。また、オンライン相談拠点を増やすことにより相談機能を強化します。

◆オンライン相談拠点数…令和3年度:1施設 ⇒ 令和4年度:16施設 【担当課】 子育て支援課

病児・病後児保育事業

【予算額】 2,230万円 (予算書P.109)

病気の児童や回復期にある児童を小児科医院に併設した保育施設で預かります。

【担当課】 子育て支援課

③ 子どもたちが安全・安心に過ごせる保育環境の充実を図ります。

④ 母子保健の充実など、健やかに子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。

保育環境・サービスの充実

西燕児童館改修事業 **新**

【予算額】1,355万円 (予算書P.105)

老朽化した設備を改修し、児童が快適に利用できる環境を整備します。



◆空調設備の改修、トイレの洋式化

【担当課】子育て支援課

西小児童クラブ改修事業 **新**

【R3繰越予算額】1,670万円

施設内の設備を改修し、児童が快適に過ごすことができる環境を整備します。

◆エアコンの増設

【担当課】子育て支援課

なかまの会の児童クラブ化推進事業 **拡**

【R3繰越予算額】3,832万円

【事業期間】令和3～4年度

燕北小学校内の空き教室等を改修し、令和5年度から児童クラブとして開設します。

◆令和3年度：設計

◆令和4年度：改修工事

【担当課】子育て支援課

子育て情報の発信強化

子育てアプリ事業

【予算額】70万円 (予算書P.111)

妊娠中の健康記録や子どもの成長記録、予防接種のスケジュール管理、市からのお知らせ、イベント情報の取得などができる「燕市子育てアプリ はぐはぐ」を提供し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう支援します。

◆登録者数：1,522人 (R4.1月末現在)

【担当課】子育て支援課



地域社会が連携した子育て支援

つばめ子育て応援カード事業

【予算額】50万円 (予算書P.111)

妊婦および中学生以下の子どもをもつ保護者を対象に、協賛店での割引や特典を受けることができる「つばめ子育て応援カード」を配布し、地域社会全体で子育て家庭を応援します。

◆協賛店：市内72店舗 (R4.1月末現在)

【担当課】子育て支援課



母子保健の充実

不妊治療助成事業

【予算額】766万円 (予算書P.123)

不妊治療に要する費用について助成を行い、経済的な負担を軽減します。

【担当課】健康づくり課



妊産婦医療費助成事業

【予算額】3,169万円 (予算書P.121)

妊産婦が負担する医療費について、その全額を医療機関の窓口で助成し、経済的な負担を軽減します。

【担当課】保険年金課

育児教室・育児相談会

(母子保健衛生事業)

【予算額】236万円 (予算書P.121)

子育てにおける保護者の不安や悩みごとに對し、相談会や教室を開催します。

◆ハッピーベビークラブ

◆療育相談会

◆2か月児育児相談会

◆親子のびすく教室 ◆予約制育児相談会

◆オンライン子育て相談

◆オンライン離乳食グループ相談会

【担当課】健康づくり課

- ①感染症対策と社会経済活動の両立に向けて、新型コロナワクチン接種とPCR検査補助を継続します。
 ②看護師不足の解消と人材の地元定着を図るため、県や県央地域の自治体と連携し看護学生の修学を支援します。

感染症対策と社会経済活動の両立

新型コロナウイルスワクチン接種事業

【予算額】6億6,500万円（予算書P.119）

国の予防接種法に基づき、新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けてワクチン接種（3回目）を実施します。

接種完了は概ね5月末を目指します。

【担当課】健康づくり課



介護サービス事業所感染症リスク管理支援事業 拡

【予算額】800万円（予算書P.95）

介護サービス事業所における感染症リスク管理支援として、PCR検査費用に加え医療用抗原検査キット購入費用も対象とし、その一部を補助します。
 ＜事業所向け＞

◆補助率：3/4（PCR：1万円/1検体、医療用抗原検査：2千円/1キットを上限）

◆申請枠（従業員数に応じた上限）：30～100万円
 ＜利用者向け＞

◆補助額：PCR検査1回あたり自己負担を2千円とし、それを超える部分を補助

【担当課】長寿福祉課

市民向けPCR検査費用助成事業

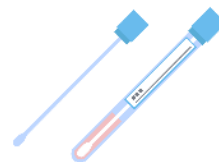
【予算額】500万円（予算書P.119）

受験や冠婚葬祭、里帰り出産など、やむを得ない事情で感染症が拡大している地域と往來をする市民や、行政検査の対象となった市民の同居家族等を対象に、PCR検査費用の一部を補助します。

◆補助率：1検体あたり3/4

◆上限額：1万円

【担当課】健康づくり課



看護師確保に向けた支援

看護職員修学資金貸付事業

【予算額】1,261万円（予算書P.127）

令和5年度開院予定の県央基幹病院をはじめとした県央地域における看護師不足の解消と人材の地元定着を図るため、県や県央地域の自治体と連携し、地元で看護師を目指す学生に対して修学資金の貸し付けを行います。

貸し付けた修学資金は、

卒業後、市が指定する

医療施設に5年間

継続して勤務した

場合、返還を免除

します。

◆新規募集：10名程度

◆貸与月額：5万円、4万円、3万円から選択

◆貸与期間：在学する学校・養成所の正規の修学期間（最大5年間）

◆指定医療施設：県央基幹病院、燕市内の病院

【担当課】健康づくり課



1-(3)-① 医療サービスの機能強化【その2】、②地域で支える高齢者福祉-38-

- ①国保財政の健全化や安定化が図られていることから、国民健康保険税率の引き下げを行います。
- ②各種医療費助成の実施により、経済的な負担を軽減します。
- ③健康増進と介護予防の一体的な実施により、高齢者の健康と自立した生活を支えます。

経済的負担の軽減

国民健康保険税率の引き下げ **新** (国民健康保険税)

【歳入予算額】12億3,750万円

(予算書P.247)

県が国保財政の運営主体となり、加えて医療費適正化の取組が県内1位となったことによる交付金の増額等により、財政運営の安定化が図られたことから、県内他市とのバランスを考慮し、国民健康保険税率の引き下げを行います。

◆引き下げ総額：1億円程度

◆一世帯あたり引き下げ額：平均約1万円

◆一世帯あたり税額の県内20市中順位：

税額の高い方から1位⇒7位

※令和2年度決算額との比較

【担当課】税務課、保険年金課

不妊治療助成事業

【再掲36ページ参照】

【担当課】健康づくり課

妊産婦医療費助成事業

【再掲36ページ参照】

【担当課】保険年金課



子ども医療費助成事業

【予算額】2億2,282万円 (予算書P.121)

高校卒業までの子どもを対象に、入院・通院にかかる医療費の一部を助成し、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

【担当課】保険年金課



地域で支える高齢者福祉

絆ノートの作成・配布 **新**

(在宅医療・介護連携推進事業費)

【予算額】50万円 (予算書P.307)

自身の人生を振り返り、家族等に伝えたいことを書き留めるエンディングノート「絆ノート」を作成します。ノートは、市役所の窓口や地域包括支援センター等での配布に加え、電子データも公開します。

【担当課】長寿福祉課



高齢者の健康な暮らしづくり

人生100年時代の健康サポート事業 **拡**

【予算額】315万円 (予算書P.125)

高齢者の心身の課題に対応した細やかな支援を行うため、保健事業と介護予防を一体的に実施します。また、健康づくり団体等と連携し、市内の高齢者向けにパソコンやスマートフォンの簡単な操作方法等の普及を図ります。

◆高齢者のデジタルツール利用促進

(43ページ「かんたんスマホ教室」に



おいても、市民のデジタル格差解消の取組を実施)

◆糖尿病重症化予防事業

◆骨折・骨粗しょう症重症化予防事業

◆口腔保健対策事業 ◆脳梗塞再発予防事業

◆健康づくりマイストーリー運動との連携

【担当課】健康づくり課

骨折・骨粗しょう症重症化予防事業 **新** (保健事業費)

【予算額】182万円 (予算書P.261)

70歳以上の国民健康保険加入者のうち、骨折・骨粗しょう症のリスクが高い人を対象に、医療機関への受診勧奨や保健指導を実施します。

【担当課】保険年金課

- ①障がいのある人への理解を深め、福祉的就労の充実を図るため、バリアフリーイベント・講演会を実施します。
- ②障がい福祉の充実を図るため、新たな施設の開所に向けた整備費用を補助します。
- ③障がいのある人の個々の生き方に応じた多様なニーズに対応するため、相談支援や就労支援の充実を図ります。

障がいのある人への理解の促進

つばめバリアフリーフェスティバル 新 (地域生活支援事業)

【予算額】 25万円 (予算書P.97)

障がいのある人への理解を深めるとともに、障がいのある人の社会参加や福祉的就労の充実を目的としたイベントを開催します。

◆開催内容

- ・障がい者施設の活動紹介、製品販売イベント
- ・こころのバリアフリー講演会

【担当課】 社会福祉課



ライフステージに応じた支援

障がい者基幹相談支援センター運営事業 (地域生活支援事業)

【予算額】 5,275万円 (予算書P.97)

相談支援体制の整備として、基幹相談支援センターと相談支援事業所がそれぞれの機能を有効に発揮できるよう体制の充実を図ります。

- ◆相談支援事業所の機能強化
- ◆相談支援体制の推進

【担当課】 社会福祉課



障がい児通所支援費支給事業

【予算額】 2億2,976万円 (予算書P.99)

成長段階に応じた訓練や交流の促進など、個々の特性に合ったサービスを提供することで生活能力の向上を図ります。

【担当課】 社会福祉課

発達支援コーディネーター育成事業 (拡) (療育支援事業)

【再掲35ページ参照】

【担当課】 子育て支援課

施設整備に向けた支援

障がい者社会福祉施設整備事業費補助金 (臨) (地域生活支援事業)

【予算額】 1,500万円 (予算書P.97)

障がい福祉の充実に向けて、事業所の新設や改修にかかる施設整備費用の一部を補助します。

- ◆補助率： 1/2以内
- ◆限度額： 1,000万円 (国県補助事業の場合)
300万円 (単独事業の場合)

【担当課】 社会福祉課

福祉的就労に向けた支援

就労継続支援A型・B型事業 (障がい者介護給付費支給事業) 【予算額】 4億4,239万円 (予算書P.97)

企業などでの就労が困難な障がいのある人に対して就労の機会を提供し、作業を通じて知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。

【担当課】 社会福祉課



- ①移住・定住希望者に対し、暮らしや仕事などニーズに沿った情報提供や助成を行い、燕市への移住・定住を促進します。
 ②働き盛り世代や子育て世代の転入者等に対し、燕市での住宅取得を支援することで定住化を図ります。

移住・定住の促進

つばめ移住・定住促進事業 (拡) 【予算総額】 2,800万円 (予算書P.67)

移住・定住に関する情報発信やニーズを踏まえたツアー等を実施するとともに、U・Iターン者や新婚世帯等を対象とした家賃の補助、東京圏からの就業者等を対象とした移住支援金の交付を行います。【担当課】地域振興課

燕市に住んでみたい人向け

サポート

★移住相談

首都圏での移住イベントへの出展とオンライン相談会を実施します。

★ツバメビト移住ツアー

燕市での暮らしを体験できる移住ツアーを開催します。さらに希望者には一般家庭でのおためし生活体験ができるメニューを提供します。

★おためし地域おこし協力隊

協力隊希望者向けに、2泊3日の体験プログラムを実施します。(宿泊費・体験費は市が全額負担)

補助制度

★移住・就業等支援事業補助金 (拡)

東京圏からの就業者等を対象に移住支援金を交付します。

- ◆補助額：単身世帯 60万円
2人以上の世帯 100万円
(18歳未満一人につき最大30万円を加算)

★移住者住宅支援事業補助金

県外からのU・Iターン者等や市外からの新婚世帯を対象に家賃補助を行います。

- ◆補助額：家賃の1/2補助

★テレワーカー交通費補助金

本社出勤等の交通費の補助を行います。

- ◆補助額：交通費の1/2補助

※それぞれ上限あり

移住後も住み続けたい人向け

サポート

★定住相談

移住後の生活に必要な情報や各種補助制度を案内します。

★定住希望者向け市内ツアー (新)

引き続き住んでいただけるよう、家賃補助利用者など希望する移住者向けに、空き家や周辺の保育園等を案内します。

★講習会・交流会 (新)

引き続き住んでいただけるよう、移住者同士が、定住に向けて様々な情報交換ができる場を提供します。

転入者への住宅取得支援

移住家族支援事業

【予算額】 3,500万円 (予算書P.167)

市外からのU・Iターン希望者や働き盛り世代などの転入に対する住宅取得費の一部を助成します。

※転入2年以内の賃貸住宅居住者等も対象

◆上限額 100万円 (基本額10万円+加算額)

◆加算項目

居住誘導区域内定住、中古住宅取得、多子世帯、新婚世帯、空き家バンク利用、市内建築業者元請、市内不動産業者との売買・仲介、テレワーク勤務利用者

【担当課】都市計画課



まちなかへの定住促進

定住家族支援事業

【予算額】 750万円 (予算書P.167)

居住誘導区域である市街地中心部への定住を促進させるため、住宅取得費の一部を助成します。

◆上限額 25万円 (基本額10万円+加算額)

◆加算項目 土地を購入し建築、中古住宅取得、多子世帯、新婚世帯 など

【担当課】都市計画課

ふるさと燕若者応援事業 (拡)

【予算額】 46万円 (予算書P.69)

県外在住の燕市出身の若者による交流組織「つばめいと」の運営を行い、ふるさと燕とのつながりを大切にし、将来的なUターンを支援します。 【担当課】地域振興課

◆燕市に関わる若者交流会の開催

◆Otonaの放課後(オンライン)の開催

◆会員限定インターンシップの開催



- ①健康診査や各種検診などの体制を整備し、疾病の早期発見・早期治療に結びつけます。
 ②運動・食生活・こころの健康など総合的な健康増進のための取組を推進し、市民主体の健康づくりを展開します。

健診体制の充実

HPVワクチン接種事業 **⑧** (感染症予防事業)

【予算額】 3,204万円 (予算書P.119)

HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチンの接種について、接種勧奨を行います。

また、これまで接種勧奨を控えていた年代 (キャッチアップ接種対象者) に対して個別通知を送付し、ワクチンの有効性や安全性について周知を図ります。

【担当課】 健康づくり課



肝炎ウイルス検診 **⑧** (健(検)診事業)

【予算額】 145万円 (予算書P.123)

これまでの単独実施に加え、(特定) 健康診査の受診時にセットで受検できるよう体制を整備し、受診率の向上を図ります。

【担当課】 健康づくり課



健康診査等のオンライン予約 (健(検)診事業)

【予算額】 304万円 (予算書P.123)

健診やワクチン接種等の予約における利便性の向上を図るため、パソコンやスマートフォンから予約が可能なオンライン予約を受付けます。

【担当課】 健康づくり課、保険年金課



疾病の重症化予防

生活習慣病等予防事業 (保健事業費) **⑧** 【予算額】 644万円 (予算書P.259)

生活習慣病の早期発見及び重症化予防のため、国民健康保険加入者のうち、各疾患のハイリスクアプローチを行います。

◆骨折・骨粗しょう症重症化予防事業 (38ページ参照)

- ◆糖尿病性腎症重症化予防
- ◆脳梗塞再発予防
- ◆慢性閉塞性肺疾患(COPD)進行予防
- ◆慢性腎臓病(CKD)進行予防

【担当課】 保険年金課

市民が主役の健康づくり

つばめ元気ががやきポイント事業 **⑧** (健康づくりマイストーリー運動、

介護予防把握事業費、
 介護予防普及啓発事業費)

【予算額】 341万円 (予算書P.125, 305)

健康行動の習慣化のため、県の「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」のアプリと連動したイベント等を実施しながら、一人ひとりが自分のペースで、いつでも気軽に取り組める健康づくり運動を展開します。

また、協定を締結した民間企業と連携し、職場での普及を図ります。

【担当課】 健康づくり課、長寿福祉課



生活習慣病改善指導事業 【予算額】 ゼロ予算

生活習慣病のハイリスク者や健診結果を改善したい人を対象に、個別支援の充実を図ります。リバウンドしにくいダイエットの実施で生活習慣の改善を推進します。

【担当課】 健康づくり課

- ①スポーツ振興を図るための環境整備に努めるとともに、スポーツに親しむ機会を提供します。
- ②トップアスリートによるスポーツ教室を開催し、子どもたちに夢や希望を与えるとともに競技力の向上を図ります。

スポーツ環境の整備

スケートボード場整備事業 新

【予算額】 2,860万円 (予算書P.221)

スケートボードの人気の高まりを受け、愛好者が安全に楽しめるよう、スポーツランド燕内にスケートボード場を整備します。

- ◆コンクリート舗装 (約1,000㎡)、セクションの設置 等
- 【担当課】 社会教育課



建設予定地
(スポーツランド燕)



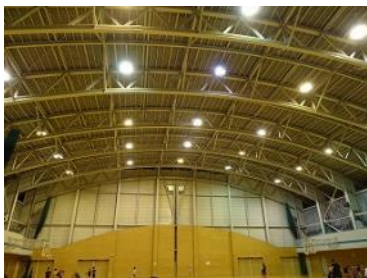
イメージ(設置するセクションは写真のものとは異なります)

スポーツランド燕改修事業 新

【予算額】 1億9,160万円 (予算書P.221)

【事業期間】 令和3～4年度

快適な施設環境の整備とランニングコストの削減のため、施設内の照明をLED化します。



- ◆体育館、屋内練習場、多目的競技場、構内外灯
- 【担当課】 社会教育課

学校開放施設ナイター設備改修事業 新

【予算額】 1億3,520万円 (予算書P.221)

【事業期間】 令和3～8年度

夜間の学校開放で使用しているナイター設備のLED化を進めます。

- ◆令和4年度：燕北小学校、吉田北小学校
- 【担当課】 社会教育課

分水多目的屋内運動場改修事業 新

【予算額】 170万円 (予算書P.221)

【事業期間】 令和4～6年度

老朽化した人工芝の張替や照明のLED化、トイレの洋式化に向けた設計を行います。

【担当課】 社会教育課

スポーツ交流の推進

燕さくらマラソン大会 100

(生涯スポーツ振興費)

【予算額】 2,147万円 (予算書P.219)

通水100周年を迎える大河津分水路を眺めながら走ることで「燕さくらマラソン大会」を開催します。

【担当課】 社会教育課



トップアスリートによるスポーツ教室

ゆめみらいスポーツ教室 新

【予算額】 500万円 (予算書P.219)

トップアスリートの技術を身近で感じ、子どもたちからスポーツにより親しんでもらうため、関係団体の協力によるスポーツ教室を開催します。

- ◆開催種目数: 3～4種目
- 【担当課】 社会教育課

つばめ野球クリニック・トークショー

(応援(燕)人口拡大創出事業)

【予算額】 160万円 (予算書P.69)

東京ヤクルトスワローズの選手を招き、少年野球チームの子どもたち向けの野球教室や、トークショーを開催します。【担当課】 地域振興課

- ①ふるさと燕への愛着や誇りを持てる意識の醸成と文化活動の振興を図ります。
 ②さまざまな芸術文化に触れる機会を提供するとともに、学習機会の充実を図ります。

郷土の宝の保護・活用

偉人漫画制作事業（文化振興事業）新 【予算額】550万円（予算書P.213）

子どもたちが先人の努力や偉業を知り、郷土愛の醸成に繋げるため、B&G財団の助成金を活用し、私塾長善館創設者「鈴木文臺」の功績を題材としたマンガを制作します。【担当課】社会教育課



長善館史料館活性化事業 拡 100 （長善館史料館管理運営費） 【予算額】295万円（予算書P.211）

筑波大学と連携し、大河津分水建設に携わった門下生を中心としたその後の活躍等の調査研究を行うとともに、企画展などの入館者増加に向けた取組を行います。



- ◆通水100周年講演会の開催（筑波大学連携）
 - ◆大河津分水と長善館に関する企画展の開催
- 【担当課】社会教育課

成人講座「燕大学」（中央公民館事業）100 【予算額】39万円（予算書P.201）

「大河津分水」をテーマとした全3回の講座を開催します。大河津分水建設に尽力した先人たちの功績を深堀りします。

【担当課】社会教育課

つばめっ子かるた大会（文化振興事業） 【予算額】54万円（予算書P.213）

「つばめっ子かるた大会」は、感染症の影響で2年連続で開催を中止しました。令和4年度は、感染症対策を講じた上で、開催方法を変更して実施します。【担当課】社会教育課

生涯学習活動の推進

「不安」を「安心」に かんたんスマホ教室 新 【予算額】ゼロ予算

スマホの操作に不慣れな方を対象に、国の事業を活用したスマホ教室を開催します。

- ◆基本操作、内蔵カメラ・メール・インターネット・アプリの使い方 等
- （38ページ「人生100年時代の健康サポート事業」においても、市民のデジタル格差解消の取組を実施）
 【担当課】社会教育課

芸術文化活動の振興

文化会館自主事業 拡 【予算額】2,791万円（予算書P.209）

子どもから高齢者まで、幅広い世代が楽しめる舞台芸術等を提供します。

- ◆市内小学校合同演劇鑑賞会
 - ◆声優朗読劇「大河津分水にたずさわった先人たちの物語」100
 - ◆立川談春独演会
 - ◆人気長寿テレビ番組 公開収録 100
 - ◆渡辺真知子コンサート 等
- 【担当課】社会教育課



社会教育施設の充実

吉田公民館改修事業 新 【予算額】1億8,612万円（予算書P.205） 【事業期間】令和3～4年度

老朽化した吉田公民館を改修します。

- ◆内装、外装、エレベータ更新、オストメイト設備の設置 等
- 【担当課】社会教育課



- ①誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の支え合い体制づくりに取り組みます。
- ②子どもの貧困の連鎖防止に向けて、子どもたちの成長を地域ぐるみで支える取組を進めます。
- ③市民と行政が協働でまちづくりを行う意識醸成と環境整備を図ります。

地域福祉の充実

軽・中等度難聴者補聴器購入費助成金 新
 (介護予防・生活支援事業)
【予算額】 80万円 (予算書P.95)

両耳それぞれの聴力が30デシベル以上、または医師が必要と認めた18歳以上の市民を対象に、補聴器の購入費用の一部を助成します。

◆市民税非課税世帯・生活保護世帯

補助率：10/10 (上限 5 万円)

◆市民税課税世帯

補助率：1/2 (上限 3 万円)

【担当課】 長寿福祉課



第4次燕市地域福祉計画策定事業 臨
 (地域福祉推進事業)
【予算額】 199万円 (予算書P.89)

地域共生社会の実現を目指し、地域が抱える課題を包括的に支援する体制づくりや施策を推進するため、福祉分野における上位計画の第4次計画を策定します。

【担当課】 社会福祉課



子どもの貧困対策

生理用品無償配布事業 新
 (子どもの居場所づくり支援事業、
 学校衛生管理費)
【予算額】 80万円 (予算書P.111, 215)

感染症拡大により顕在化した「生理の貧困」対策として、子ども食堂や学校等を通じ経済的な理由等で生理用品を購入できない子どもに無償配布を行うとともに、必要な支援に向けた早期の相談につなげます。

【担当課】 社会福祉課、学校教育課

子どもの居場所づくり支援事業助成金 拡
 (子どもの居場所づくり支援事業)
【予算額】 40万円 (予算書P.111)

子ども食堂など食事や学びの場を提供する団体に対し、感染症拡大により新たに必要となった消耗品等の購入経費について助成金を増額して交付し、安定した運営の継続を支援します。

◆助成金額： 上限 5 万円 ⇒ 10万円

◆対象経費： 食材費、保険料、会場借上料、
 弁当容器代、消毒等衛生用品 等

◆助成対象： 燕市内で活動・運営している団体

【担当課】 社会福祉課

市民協働のまちづくり

まちづくり協議会支援事業
【予算額】 1,279万円 (予算書P.65)

まちづくり協議会に対して運営経費の財政支援や情報提供、活動相談などを行い、地域コミュニティの活性化を図ります。

【担当課】 地域振興課

協働のまちづくり推進事業
【予算額】 604万円 (予算書P.65)

まちづくり基本条例の理念に則り、市民協働の機運醸成や、市民自らが実施する公益的な活動に対する事業費の助成、情報提供などの支援を行います。

【担当課】 地域振興課



多文化共生の推進 (外国人が安心して暮らせる環境づくり)

外国人交流会の開催 (地域振興一般経費)
【予算額】 30万円 (予算書P.63)

外国人と地域住民が互いに理解を深めることを目的に交流会を開催します。

【担当課】 地域振興課



- ①若者によるまちづくり活動の活発化を図るため、主体的にまちづくり活動に取り組む若者たちをサポートします。
- ②女性が活躍しやすい環境づくりを進めるため、男性の育休取得促進に向けた啓発や支援等に取り組みます。

若者の活動の活発化

つばめ若者会議事業


【予算額】 322万円 (予算書P.67)

「燕ジョイ活動部」や「燕市役所まちあそび部」をはじめとする若い世代によるまちづくりを促進するため、主体的にまちづくり活動に取り組む若者たちをサポートします。



◆ウェブサイト・SNSを活用した情報発信

◆全体会議・活動報告会の開催

◆大河津分水通水100周年記念事業の実施 
(オリジナルショップバッグデザイン、Twitter川柳コンテスト#100年、大学との連携による川の魅力発信)

◆まちあそび学会(仮称)の開催

(市内外の高校生や学生、教職員を対象にイベントを開催し、燕市の若者が楽しみながら、まちづくりに携わる手法をブランド化して発信します。) 【担当課】地域振興課

羽ばたけつばくろ応援事業

【予算額】 148万円 (予算書P.183)



夢の実現に向けた自己啓発活動や社会貢献活動など、次代を担う子どもたちが主体的に取り組む活動を支援します。【担当課】学校教育課

女性が活躍しやすい環境づくり

つばめ子育て応援企業サポート事業

【予算額】 162万円 (予算書P.69)

積極的に仕事と子育てが両立できるような職場環境づくりを進める企業を「つばめ子育て応援企業」に認定し、取組に応じて助成等を行います。

★つばめ子育て応援企業認定

★男性の育児休業取得促進奨励金 

男性従業員：5万円(市外在住も含む)

事業主：2つ星認定7万円

3つ星認定7万円又は15万円

(育休期間による)



★訪問型男性育休啓発事業

・社会保険労務士に委託し、時間や人手の確保が難しい小規模な企業等へ国や市の制度説明を行うことで、男性の育休取得に向けた補助制度の利用や企業認定の申請を促します。

★男性従業員の育休5日取得を推進

・燕商工会議所、吉田・分水商工会と協力して、セミナーや勉強会等を行いながら、市の支援制度の周知を図ることで、市内事業所の男性従業員が5日間の育児休業を取得できるよう取り組みます。

【担当課】地域振興課、商工振興課

女性が輝くつばめプロジェクト推進事業

【予算額】 167万円 (予算書P.65)

女性を含む多様な人材が活躍できること(ダイバーシティ)を目的としたフォーラムの開催や働きやすい職場づくりを支援する補助金により、女性が輝いて活躍しやすい職場環境づくりを進めます。

◆みんなが活躍できる職場環境づくり推進補助金

◆女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラムの開催

◆つばめ輝く女性表彰の実施、受賞者紹介動画の配信

【担当課】地域振興課



勤労者福祉事業

【予算額】 1,085万円 (予算書P.135)

燕西蒲勤労者福祉サービスセンター(たんぼ)の子育て支援を目的とした給付事業を拡充します。

◆第1子の出産祝金：1万円⇒2万円

◆育児休業取得の男性会員に5,000円分の商品券を進呈

【担当課】商工振興課



- ①リニューアルする道の駅国上を戦略的にPRし、観光拠点としてさらなる活性化を目指します。
- ②地場産業の魅力発信により産業観光を活性化し、交流・応援(燕)人口の拡大を図ります。
- ③大河津分水通水100周年を契機としたイベントやツアーにより着地型観光を推進します。

観光拠点の機能強化

道の駅国上リニューアル 新
(道の駅「国上」運営事業)
【予算額】 2,600万円 (予算書P.155)

道の駅国上では、新たな指定管理者のもとキャンプ場やフードコンテナ、水辺の遊び場等、新たな客層を呼び込むための施設整備が行われます。これに合わせて、生まれ変わった道の駅国上を効果的にPRするとともに、リニューアルイベントを指定管理者とともに開催します。

【担当課】観光振興課



地場産業の魅力発信

産業史料館企画展開催事業 100
(産業史料館運営業務委託事業)
【予算額】 324万円 (予算書P.155)

大河津分水通水100周年を記念し、魅力的な企画展を開催します。全5回の企画展では、「100年」「水」「川」などをテーマにした特別な作品を展示します。

【担当課】観光振興課



着地型観光の推進

大河津分水通水100周年記念花火 新 100
(観光推進費)
【予算額】 1,250万円 (予算書P.151)

大河津分水通水100周年を記念し、例年行っている夏まつりの花火を、通水100周年特別バージョンとして大河津分水で打ち上げます。

【担当課】観光振興課



プレミアムキッチン 新 100
～大河津分水の恵みを味わう～ (観光推進費)
【予算額】 200万円 (予算書P.153)

大河津分水通水100周年を記念し、分水路がもたらした恵みである地元食材を活かした特別な料理を、地元シェフが提供する食のイベントを開催します。

【担当課】観光振興課



大河津分水インフラツアー 新 100
(燕・弥彦広域観光連携事業)
【予算額】 200万円 (予算書P.153)

大河津分水路や周辺エリアの観光スポットを巡るツアーを行う旅行事業者等に対し経費の一部を補助します。

- ◆ツアー商品に対する補助額：
- ・バス1台あたり10万円以内
 - ・旅行者1人あたり2万円以内
- 【担当課】観光振興課



3-②-① 都市交流・広域連携の推進、(3)-① イメージアップ・ふるさと応援 -47-

- ①交流・応援(燕)人口の拡大を図るため、燕市と様々な関わり合いを持てる体験・交流プログラムを実施します。
②大河津分水通水100周年記念事業とともに、ものづくり産業や観光資源、歴史・文化などの様々な魅力を発信します。

燕市のファンづくり

ふるさと燕応援事業 **⑧**

【予算額】 10億円(予算書P.59)

ふるさと燕応援寄附金のお礼の品として魅力的な地場産品を贈呈することにより、燕市を全国にPRし、交流・応援(燕)人口の拡大を目指すとともに、市産品の需要拡大を図ります。



- ◆お礼の品を通じた燕市の魅力発信
 - ◆お礼の品の拡充
 - ◆仲介サイトの追加導入
 - ◆ウェブサイト上での広告強化
 - ◆ふるさと納税係の新設による体制強化
- 【担当課】総務課



自治体クラウドファンディング事業 (自治体クラウドファンディング事業、基金積立金) 【予算額】 15億円(予算書P.59)

全天候型子ども遊戯施設の整備に要する財源をクラウドファンディングにより確保します。

【担当課】総務課、子育て支援課

応援(燕)人口拡大創出事業 **⑧**

【予算額】 1,397万円(予算書P.69)

市外県外にいる燕市の応援(燕)人口の人たちへ、燕市と様々な関わり合いを持てるプログラムやイベントを提



供するとともに、引き続き、東京ヤクルトスワローズと連携した各種イベントを実施することで、更なる応援(燕)人口の獲得に取り組みます。

- ◆応援(燕)人口の人たちが参加できる体験・交流プログラムの実施
 - ◆燕市Dayやファン感謝デーなど神宮球場での出展や、田植え・稲刈りイベントの開催
- 【担当課】地域振興課



シティプロモーション事業 **⑧**

【予算額】 2,000万円(予算書P.69)

国の制度により、地域活性化起業人を引き続き活用するとともに、大河津分水通水100周年という絶好のタイミングに合わせたプロモーションに取り組み、ものづくり産業や観光資源、歴史・文化など様々な魅力を発信します。

- ◆記念楽曲等のコンテンツを活用しながら、各種メディアやSNSでの効果的な情報発信

【担当課】広報秘書課



広域連携の推進

燕・弥彦地域定住自立圏推進事業

【予算額】 10万円(予算書P.63)

第2期燕・弥彦地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、医療福祉・広域観光・地域公共交通等の分野で連携事業を推進します。

【担当課】企画財政課

- ①感染症対策や避難所運営に必要な物資を整備するなど、防災・減災体制の強化に取り組みます。
 ②市内全域の防災力を高めるため、総合防災訓練や消防団をはじめ関係機関が一体となった総合水防演習を実施します。
 ③安全・安心なまちづくりの実現のため、犯罪抑止対策と被害者支援、消費者トラブルの未然防止に取り組みます。

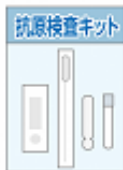
防災・減災体制の強化

感染症対策事業（災害対策事業）**新**

【予算額】605万円(予算書P.173)

感染症拡大防止のため、早期に判定できる抗原検査キットを購入します。

【担当課】防災課



防災備蓄整備事業（災害対策事業）**拡**

【予算額】160万円(予算書P.173)

災害発生時に避難者の命を守るため、外部からの物資が届くまでの間に必要な食料等の備蓄品を配備します。

◆生理用品や紙おむつ等の
備蓄品の充実

【担当課】防災課



固定電話への防災情報配信事業（災害対策事業）

【予算額】74万円(予算書P.173)

75歳以上の高齢者のみの世帯などを対象に、避難所開設等の防災情報を固定電話に音声メッセージでお知らせします。

【担当課】防災課

避難指示を
発令しました。



立地適正化計画防災指針検討事業 **新**

【予算額】473万円(予算書P.169)

自然災害が激甚化しているため、近年の気象データ等の分析による、災害リスクの高い地域の抽出や、防災上の課題を整理し、防災減災の取組方針を検討します。

【担当課】都市計画課



地域に根差した防災活動

総合防災訓練事業

【予算額】ゼロ予算

市民一人ひとりが円滑かつ迅速な対応が取れるよう、マイ・タイムラインを活用した水害対応の総合防災訓練を行います。【担当課】防災課

信濃川・魚野川総合水防演習 **臨**

【予算額】ゼロ予算

38年ぶりに燕市を会場として、国や県等との共催で、沿川地域の消防団をはじめ関係機関が一体となった総合水防演習を実施します。

【担当課】土木課、防災課



犯罪の抑止対策と被害者支援

犯罪被害者等支援事業 **新**

【予算額】53万円(予算書P.61)

相談窓口を設置し、犯罪被害者等に寄り添った支援をするとともに、犯罪被害者等の人権の尊重や支援の必要性について、啓発を図ります。

- ◆「燕市犯罪被害者等支援条例」の施行
- ◆犯罪被害者等見舞金の支給
- ◆リーフレットの作成・配布
- ◆相談窓口の設置

【担当課】生活環境課



犯罪被害者等支援シンボルマーク
「ギョっとちゃん」

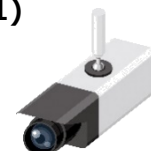
防犯カメラ設置補助事業（防犯事業費）

【予算額】112万円(予算書P.61)

防犯組合が設置する防犯カメラの費用の一部を助成します。

◆補助率：2/3

◆上限額：8万円 【担当課】生活環境課



消費者行政の推進

消費生活相談窓口事業（戸籍住民基本台帳費）

【予算額】17万円(予算書P.75)

消費生活相談体制の充実とトラブル防止の啓発に取り組みます。【担当課】市民課



- ①車道と分離した歩道や転落防止柵・防護柵の整備など、交通安全に関する施設の整備や道路安全対策を進めます。
- ②高齢者の関与する交通事故を未然に防ぐため、交通安全教室や運転免許自主返納支援を行います。
- ③公共交通に関する利用状況や市民ニーズに対応した、柔軟性が高く選ばれる公共交通環境を提供します。

交通安全施設の整備

広域8号線交差点改良事業 **新**
吉田東通り自歩道整備事業
【予算額】 1億160万円
(予算書P.165)
【事業期間】 令和3~5年度

民間開発が予定され交通量の増加が見込まれる路線の交差点改良と歩道の拡幅を行い、通学する児童と歩行者の安全を確保します。

- ◆令和4年度：
 交差点改良工事 (L=140m)
 自歩道整備工事 (L=280m)
【担当課】 土木課



園児通行ルート安全対策事業
【予算額】 1,580万円
(予算書P.165)
【事業期間】 令和元~6年度

安全を確保するため計画的に実施しており、令和4年度は園児の散歩コースである市道小牧灰方線の歩道を整備し、園児等歩行者の安全な環境をつくります。

- ◆令和4年度：歩道整備工事
 (L=80m)

【担当課】 土木課



交通安全対策の推進

高齢者運転免許自主返納支援事業
(交通安全推進事業)
【予算額】 275万円 (予算書P.87)

運転免許の自主返納をされた高齢者に対し、タクシー・おでかけきららん号・スワロー号の利用券を交付します。

- ◆上限額：1万円 (組み合わせは自由)
【担当課】 生活環境課



交通安全指導強化事業
(交通安全推進事業)
【予算額】 1,064万円 (予算書P.87)

交通安全協会や警察との連携により交通安全教室や街頭指導の充実、交通安全意識の啓発に努めます。

- ◆シルバーナイトスクールなど
 高齢者向け交通安全教室の開催
【担当課】 生活環境課



公共交通網形成計画の推進

新規バス路線導入事業 **拡**
(公共交通運行事業)
【予算額】 1,100万円 (予算書P.87)

利便性の高い公共交通ネットワークの形成に向け、燕地区でのコミュニティバス実証運行をより細かなニーズに対応できるようバスを小型化し、ルートを見直して実施します。

◆実証運行ルート：

燕駅～大曲～燕三条駅～
 燕労災病院～小牧地内～
 新生町

【担当課】 都市計画課



予約制乗合ワゴン車運行事業
(公共交通運行事業)
【予算額】 3,905万円 (予算書P.87)

予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」を、燕市・弥彦村全域で運行します。公共交通会議では、県央基幹病院など新たな拠点整備に合わせた交通網再編の検討を始めます。

【担当課】 都市計画課



- ①脱炭素社会の推進に向けて、次世代エネルギーの活用可能性の調査や低炭素設備の導入補助等を行います。
②民間企業と協働で再資源化と省資源化に取り組み、環境負荷の軽減を図ります。

脱炭素社会の推進

次世代エネルギー技術等活用可能性調査事業 **新**

【予算額】1,644万円（予算書P.129）

風力等の次世代エネルギーの地産地消を目指し、市内での次世代エネルギーの活用可能性を調査します。

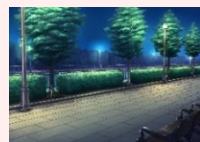
【担当課】生活環境課



公園等スマートライティング設備整備事業 **新**

【予算額】1億2,700万円（予算書P.169）

遠隔により調光操作ができるLED照明灯を92基設置し、エネルギー消費量の大幅な削減を図ります。



◆設置箇所：交通公園、大曲河川公園
吉田ふれあい広場、みなみ親水公園、大河津分水さくら公園など

【担当課】都市計画課

住宅エコリフォーム支援事業 **新** (建築総務費)

【予算額】1,150万円（予算書P.167）

持続的に暮らせる環境をつくるため、住宅の省エネ基準を満たすための、診断費、設計費、改修工事費用の一部を補助します。

◆補助額：リフォーム工事の23%
(上限額70万円)

※ZEH住宅は上限100万円

【担当課】営繕建築課



吉田南小学校照明器具等改修事業 **新** 【再掲34ページ参照】

【担当課】学校教育課

小学校屋内運動場照明器具改修事業 【再掲34ページ参照】

【担当課】学校教育課

SDGs（カーボンニュートラル等）促進事業 **新** 【再掲30ページ参照】

【担当課】商工振興課

環境負荷の軽減

指定ごみ袋のレジ袋化事業 **新** (環境政策推進事業費)

【予算額】30万円（予算書P.127）

買い物時のレジ袋の代わりに、指定ごみ袋を1枚からでも購入できるようにし、レジ袋の削減に取り組みます。
順次、市内スーパーなど協力店舗での取り扱いを開始します。

【担当課】生活環境課



カンカンBOOK事業 (塵芥処理費、保育園運営費)

【予算額】

アルミ缶等回収費用 5万円（予算書P.131）
図書購入費(売却益) 15万円（予算書P.99）



事業所からアルミ缶及びスチール缶を寄附していただき、資源ごみの再資源化を促進するとともに、その売却益を市内保育園等の図書購入費に活用します。

【担当課】生活環境課、子育て支援課

- ①民間団体等と協働で空き家の対策と空き地等の区画再編を促進し、まちなか居住を推進します。
- ②空き物件の具体的な活用例を示し、賑わいを創出することでまちなか活性化に向けた機運を醸成します。
- ③市民が安全に利用でき、持続的に親しみをもてる公園づくりのため、公園設備の計画的な更新や改修に努めます。

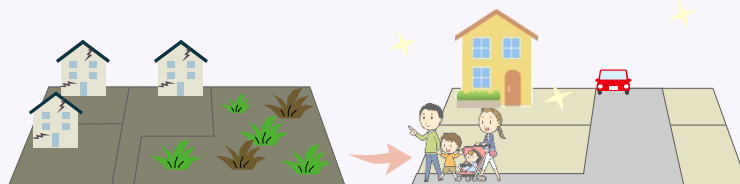
空き家解体とまちなかの再編

空き家跡地活用促進補助事業 Ⓢ

（空き家等対策推進事業）【予算額】2,000万円（予算書P.169）

空き家を解体し、分譲再編など周囲を一体活用することを条件に、一定以上の不良度がある空き家の解体について助成を行います。狭隘道路により、空き家・空き地が増加しているまちなか（居住誘導区域）での区画整備工事に対し、新たに補助額を加算することで再分譲を促進します。

- ◆補助額：空き家1件につき
解体費等の1/2（上限額50万円）
- ◆加算額：解体費補助の増額、
道路拡幅に係る費用など
（補助額と合わせて上限1,200万円）



【担当課】都市計画課

空き家利活用促進

まちなか空き家展示相談会事業 新

（空き家等対策連絡協議会事業）【予算額】38万円（予算書P.169）

空き物件の活用を促進するため、民間イベントと協働で、複数の空き家を内覧でき、検討案の相談も同時に行える展示相談会をまちなかで開催します。活用希望者がより具体的な活用方法を検討できるよう、内覧と併せてDIYを職人から学べる講習会も実施します。

- ◆開催場所：吉田地区商店街周辺

【担当課】都市計画課



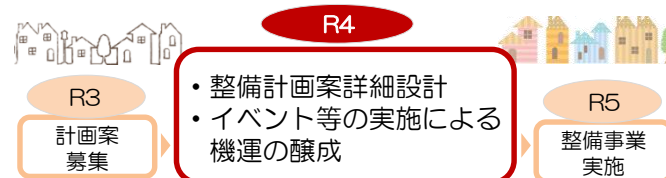
まちなかの賑わい創出

中心市街地再生モデル事業 Ⓢ

【予算額】10万円（予算書P.169）

令和3年度に事業採択をした団体と共に、令和5年度の整備事業実施に向けた計画の作成と、まちなかの活性化を目的としたソフト事業を実施し、整備に向けた機運を醸成します。

【担当課】都市計画課



まちなかにぎわい創出事業 Ⓢ

【再掲31ページ参照】【担当課】商工振興課

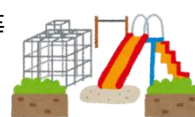
公園施設の更新

都市公園・児童遊園遊具整備事業 （都市公園管理費、児童遊園管理費）

【予算額】490万円（予算書P.169、107）

公園遊具の安全性を確保し、市民が安心して過ごせる公園を維持するため、耐用年数を超えた遊具等の更新を行います。

【担当課】都市計画課



- ①児童・高齢者などの歩行者と通行車両にとって安全で快適な道路環境の整備を行います。
- ②老朽化した道路施設等の整備・修繕を計画的に行い、適正な維持管理を行います。

安全・安心な道路環境の整備

小高長所線道路改良事業 **新**
【予算額】480万円 (予算書P.165)
【事業期間】令和4～6年度

高速道路側道の拡幅工事を行い、部分的な狭隘箇所を解消します。

◆令和4年度：測量
詳細設計 (L=250m)

【担当課】土木課



中央通小高線道路改良事業
【予算額】1,370万円 (予算書P.163)
【事業期間】令和3～5年度

県が実施する国道289号燕北道路事業に合わせ、本路線の整備により主要地方道新潟燕線とつなぐことで、市街地の慢性的な渋滞を緩和します。

◆令和4年度：
用地取得 (L=190m)

【担当課】土木課



藤見線道路改良事業 **新**
【予算額】5,580万円 (予算書P.165)
【事業期間】令和3～4年度

国道116号と交差し、燕市を東西に結ぶ藤見線について、部分的に狭隘な個所を解消します。

◆令和4年度：
拡幅工事
(L=450m)

【担当課】土木課

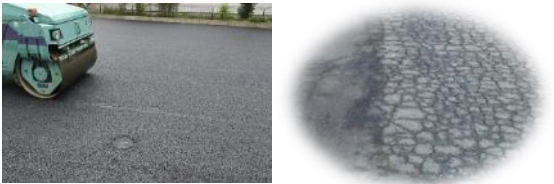


既存道路施設等の適正管理

修繕料 (道路維持費) 等
【予算額】6億8,390万円
(予算書P.161、163)

老朽化した道路施設や消雪施設について、適正な維持管理を行います。

【担当課】土木課



事業名	事業費
除排雪対策事業 (消雪パイプ維持管理業務委託料)	3,980万円
除排雪対策事業 (修繕料)	9,690万円
消雪施設整備事業 (工事請負費)	7,800万円
小 計	2億1,470万円

事業名	事業費
道路維持費 (修繕料)	6,200万円
道路維持費 (道路維持修繕工事費)	3,200万円
道路維持費 (道路安全施設工事費)	1,200万円
道路維持費 (道路照明設置工事費)	1,100万円
幹線道路環境整備事業	4,900万円
道路改良事業 (市道改良舗装工事費)	1億1,000万円
下水路整備事業 (工事請負費)	9,000万円
側溝修繕事業	9,240万円
生活道路対策側溝修繕事業	1,080万円
小 計	4億6,920万円
令和4年度事業費計 (前年比 655万円増)	6億8,390万円
前年度事業費	6億7,735万円

- ① 弥彦村とともに、浄水場施設の再構築と老朽化した水道施設の更新を推進します。
 ② 経済的な汚水処理の実現のため、下水道の整備と合併浄化槽の普及促進を区域を分けて推進します。

浄水場施設の再構築

浄水場施設再構築事業

【予算額】 65億7,930万円

【事業期間】 平成29～令和8年度

令和7年度からの供用開始を目指し、燕市と弥彦村の既存4浄水場を統合する、新たな浄水場を建設します。



- ◆ 浄水場本体工事、
送配水管布設工事、
取水施設建設工事

【担当課】 燕・弥彦総合事務組合 水道局

老朽化した水道施設の更新

老朽管路更新事業

【予算額】 10億3,677万円

【事業期間】 令和元～8年度

老朽管更新計画に基づき、老朽化した管路を漏水や地震に強い耐震性能に優れた配水管に更新します。

- ◆ 石綿セメント管の更新工事 (L=6.3km)
- ◆ 重要給水施設管路の耐震化工事 (L=0.7km)

【担当課】 燕・弥彦総合事務組合 水道局

※詳細は「燕・弥彦総合事務組合
水道事業会計予算概要」を参照

下水道の整備と施設の適正管理

下水道ストックマネジメント計画の策定

【予算額】 3,820万円



下水道に関する全施設の維持管理、改築を一体的に捉えて、効率的に管理することで、事業費の平準化を図る計画の策定に着手します。

◆ 策定期間：令和4～5年度

【担当課】 下水道課



本町排水区(合流)管路施設改築更新事業

【予算額】 1億4,170万円

【事業期間】 平成26～令和6年度

本町排水区での下水道管の老朽化による機能障害を防止するため、ストックマネジメント計画に基づき、幹線下水道管の改修を行います。

◆ 合流管渠改築更新 (L=190m)

【担当課】 下水道課

※詳細は「燕市下水道事業会計当初予算の概要」を参照

公共下水道の整備 (未普及対策)事業

【予算額】 5億3,300万円

【事業期間】 令和元～10年度

燕市汚水処理施設整備構想に基づき、集合処理区域の下水道を効率的に整備します。

【担当課】 下水道課



合併浄化槽による汚水処理

合併処理浄化槽転換促進事業

(環境衛生費)

【予算額】 3,309万円 (予算書P.129)

燕市汚水処理施設整備構想に基づく個別処理区域において、単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、補助金を交付します。



◆ 補助内容：

設置費補助 (上限額) 規模により35.2～58.8万円
 単独槽撤去費補助 (上限額) 9万円
 宅内配管工事費補助 (上限額) 30万円

※汲み取り便槽からの転換に伴う撤去費と

配管工事費も補助対象

【担当課】 生活環境課

- ①日々変化する社会状況を的確にとらえ、未来を見据えたまちづくりを推進するための礎となる計画を策定します。
- ②豊かな生活環境を未来につなぐため、持続可能なまちをつくる新たな取組を推進します。

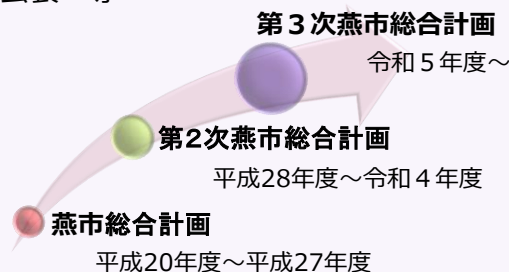
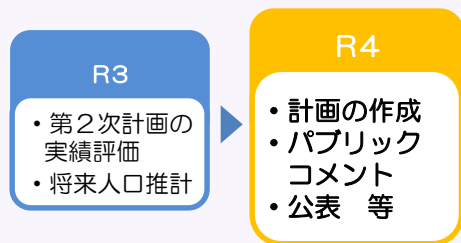
未来を見据えたまちづくり

第3次燕市総合計画策定事業 臨
(政策調査研究費)
【予算額】 145万円 (予算書 P.63)
【事業期間】 令和3～4年度

めまぐるしく変化する社会経済情勢に対応し、将来にわたって持続可能な市政運営を行うため令和5年度を始期とした第3次燕市総合計画を策定します。

◆令和4年度：総合計画審議会の開催、計画作成、
 パブリックコメント、公表 等

【担当課】企画財政課



まちづくりマスタープラン策定事業 臨
【予算額】 1,187万円 (予算書 P.169)
【事業期間】 令和2～4年度

人口減少や社会状況の変化と共に、国・県のインフラ整備や産業分野などでの新たなニーズの高まりがあることから、未来を見据えたまちづくりの方向性を示すため、新しいまちづくりマスタープランを策定します。

◆令和4年度：地域別構想策定、実現化方策の検討、計画作成、
 パブリックコメント、公表 等

【担当課】都市計画課



持続可能な新たな取組の推進

次世代エネルギー技術等活用可能性 新
調査事業
【再掲50ページ参照】

【担当課】生活環境課



SDGs (カーボンニュートラル等) 新
促進事業
【再掲30ページ参照】

【担当課】商工振興課



- ①第2次燕市行政改革推進プランの策定や公共施設の保有量適正化により、持続可能な行財政運営を推進します。
②デジタル技術を活用し、市民の利便性向上や市役所業務の効率化を図ります。

行政改革の推進

第2次燕市行政改革推進プラン策定事業 (行政改革推進費)

臨

【予算額】35万円(予算書P.63)

燕市行政改革推進プランが令和4年度に終期を迎えるため、持続可能な行財政運営の推進に向けて第2次プランを策定します。

【担当課】企画財政課

会計年度任用職員の報酬改定

拡

会計年度任用職員の処遇改善と人材確保を図るため、国から3%程度の処遇改善要請のある保育士や幼稚園教諭等に加え、全ての職種において報酬単価の引き上げを行います。

◆報酬の増加率(例)

- ・事務補佐員 +3.1%
- ・保育関係職員 +平均3.1%
- ・児童クラブ関係職員 +平均3.1%

◆引き上げ総額：約3,100万円

【担当課】総務課



デジタル市役所の推進による市民サービスの向上

情報統計室の新設

新

【予算額】ゼロ予算

デジタル市役所のさらなる推進に向けて、情報統計室を新たに設置するとともに、専門の外部人材を採用します。 【担当課】総務課

コンビニ交付サービスの開始

新

(情報システム管理費、戸籍住民基本台帳費)
【予算額】2,611万円(予算書P.71, 75)

マイナンバーカードを利用し、全国のコンビニ等で各種証明書の取得ができるサービスを令和4年8月1日から開始します。

【担当課】総務課、市民課

軽自動車税納税証明書の電子化

新

(情報システム管理費、賦課経費)

【予算額】376万円(予算書P.71, 73)

四輪軽自動車の納税状況を各検査場へ電子データで提供し、車検時の納税証明書の提示を省略可能にします。

【担当課】総務課、税務課



燕市公式LINEの機能強化

拡

(広報広聴費)

【予算額】264万円(予算書P.65)

市の公式LINEによる予約受付やアンケート等新たな機能を活用し、利用者の利便性向上を図ります。 【担当課】広報秘書課

公的資産のマネジメント

建物系公共施設保有量適正化事業

【予算額】ゼロ予算

燕市建物系公共施設保有量適正化計画に基づき、人口減少時代に即した施設保有量の適正化を進めます。令和4年度は、計画前期(令和元～4年度)の最終年度であることから、前期の総括を行います。 【担当課】用地管財課

適正な予算措置・執行

原材料費高騰等への対応

今後も見込まれる原材料費等の高騰を考慮し、適正に予算措置を行うとともに、工事等の早期発注に努めます。

◆印刷製本費の場合

資材費高騰相当分：約680万円

◆入札の早期執行